ROYAL ENFIELD OWNER'S MANUAL

SHOTGUN 650

JAPANESE

はじめに

Royal Enfield ファミリーへようこそ。

Royal Enfield は、継続的に生産されている世界最古のオートバイのメーカーとして長年にわたって世界中の何百万人ものライダーにとってカスタマイズとパーソナライゼーションのキャンバスであり続けています。Shotgun 650 は慣習に挑戦し、限界を打ち破ってきた何世代にもわたるライダーの精神への賛歌です。

このカスタム風のロードスターは Royal Enfield がどうあるべきかという概念のすべてに挑戦しながら、当社のマシンを純粋なモーターサイクルの教訓にするすべての要素を持っています。実績のある 648cc パラレルツインエンジンとカスタムからインスピレーションを得たモジュラーデザインを備えた Shotgun 650 は、インスピレーション、実験、そして純粋な表現のために作られた車両です。低姿勢のライディングダイナミクスと最適な人間工学により、高速道路を駆け抜けたり、街中を駆け抜けたりするのに最適で、この芸術作品をどこにでも持ち運べます。

このマニュアルは車両の手入れに関してあなたの友人であり、哲学者であり、ガイドです。次のページでは今後何十年もの間、あなたの旅や探検の信頼できるパートナーであり続けるために車両の手入れの方法が紹介されています。

最寄りの Royal Enfield 認定サービスディーラーですべての定期点検を受け、愛車が常に最高の状態に保たれるようにしてください。乗車前にこのマニュアルに記載されている保証条件やその他の役立つ情報を必ずお読みください。

注意事項

このマニュアルに記載されているすべての情報は、発行時点で入手可能な最新の製品情報に基づいています。継続的な改善により、このマニュアルに記載されている情報とお客様の車両に関連する情報とに相違が生じる場合があります。
最新の仕様、機能などについては、必ずRoyal Enfield認定サービスディーラーにご相談ください。Royal Enfieldは予告なしにいつでも生産変更を行う権利を留保し、以前に製造または販売された車両に同じまたは同様の変更を行う義務を負いません。
表示されているすべての画像は説明のための参考用であり、お客様のモデルと車両モデルと同一ではないことがあります。付属品や機能は標準装備に含まれていない場合があります。技術仕様はRoyal Enfieldの独自の裁量により予告なく変更される場合があります。
シートや金属部品の分解および組み立てに際しては、鋭利な部分に注意してください。これにより怪我をする可能性があります。
「© Copyright 2023 Royal Enfield (A unit of Eicher Motors Ltd.). 無断転載を禁じます。このマニュアルのいかなる部分もRoyal Enfield社の書面による明確な許可なしに複製、配布、またはその他の方法で取り扱うことはできません 」

免責事項

1. バイクのつや消し仕上げの塗装面を磨くと光沢が増すため、磨かないでください。
2. 塗装された部品は水で洗浄し、強力な溶剤や洗剤を使用しないでください。
3. つや消し仕上げの部品に傷がついた場合、修正や除去することができません。
4. バイクのつや消し仕上げの塗装部分には保証は適用されません。

注記

■ この車両は Euro 5+ 規制に適合しています。

Part No. RAM00638/B / 12th March 2025

目次

安全に関する定義 4
個人およびバイクに関する情報 5
安全運転のヒント / ガイドライン 6
交通ルール 10
アクセサリーと荷物 12
技術仕様 14
推奨潤滑剤 19
車両の識別番号 20
主要部品の位置 21
制御操作 24
警告表示と安全システム 54
運転前のチェック 58
慣らし期間 59
始動 60
ギアシフト、運転、停止 64
駐車 66
ツールキット 68
オーナーズマニュアルの保管場所 69
メンテナンスのヒント 70
長距離旅行の注意事項 105
リアサスペンションの設定 106
洗車手順 108
保管上の注意 110
トラブルシューティング 111
環境配慮 113
定期メンテナンス 114
一般保証利用規約と条件 119
ボーダレス保証の利用規約と条件 125
お客様の責任 127
責任の制限 127
排出ガス保証 128
蒸発ガス排出制御システム保証 133
無線設定認証 134
サービス / メンテナンス記録 135
配線図 136
ノート 137

安全に関する定義

「警告」、「注意」、「注記」というタイトルで提供される情報は、お客様の安全と、お客様の車両と他の方への配慮と安全のために提供されています。これらの情報は注意深くお読みください。無視すると、お客様自身または他の方が怪我をしたり車両が損傷する可能性があります。

警告

潜在的に危険な状況を示します。このメッセージを無視するとライダーまたは他の方が負傷する可能性があります。

注意

このメッセージを無視すると車両が損傷する可能性があります。

備考

理解を深めるために重要かつ役立つメッセージを示します。

個人および車両に関する情報

氏名											
番地											
市区町村											
都道府県								国			
連絡先番号	自宅 :							オフィス :			
	携帯 :							E メール :			
免許証番号								有効期限 :			
モデル								色 :			
エンジン番号											
車台番号											
タイヤメーカー	フロント :							リア :			
タイヤ番号	フロント :							リア :			
バッテリーメーカー								バッテリー番号			
販売者											
販売日											

安全運転のヒント / ガイドライン

- 新しい車両を操作する前に、ご自身の安全、車両の安全、そして他者の安全のためにこのオーナーズマニュアルに記載された操作およびメンテナンスの指示を注意深くお読みいただき、それに従ってください。
- 自国の交通ルールを理解し、遵守してください。
- 車両を始動する前にブレーキ、クラッチ、ギアシフター、ハンドルバーの操作系が適切に作動するか、タイヤの空気圧、燃料とオイルレベルなどが適切かを点検してください。
- Royal Enfield の純正スペアパーツや承認されたアクセサリーのみを使用してください。他社の部品を使用すると、車両の性能に影響を及ぼし保証が受けられなくなる可能性があります。詳細は Royal Enfield の正規サービスディーラーへご確認ください。
- バイクに燃料を給油するときは常に細心の注意を払い、以下のガイドラインを注意深く守ってください。
  - ★ 携帯電話やその他電子機器の電源を「オフ」にします。
  - ★ 燃料給油や燃料システムの整備を行う際は、喫煙はしないでください。また、車両の近くに火気がないことを確認してください。
  - ★ 換気の良い場所でエンジンを切った状態で燃料を給油してください。
  - ★ 燃料タンクのキャップをゆっくり開けてください。
  - ★ 燃料タンクを満タンにしないでください。燃料の膨張を考慮して、アンチスプラッシュプレートの底まで燃料を入れてください。

安全運転のヒント / ガイドライン

警告

Royal Enfieldはアフターマーケットやカスタムメイドのフロントフォークやサスペンションなど、性能やハンドリングに悪影響を及ぼす可能性のある非標準部品を使用しないように注意しています。オリジナルの部品を取り外したり改造することは性能に悪影響を与え、事故の原因となる可能性があります。

- 新しい車両は特別な慣らし運転手順に従って運転する必要があります。それぞれのセクションに記載されている慣らし運転の手順を参照してください。
- あらゆる状況下での車両の操作と操縦特性に慣れるまでは、交通の少ない場所で適度なスピードでのみ運転してください。
- 法定速度を超えたり、スピードを出し過ぎないでください。走行条件が悪い場合は必ず速度を落としてください。高速になると安定性に影響を与えるその他の条件の影響が大きくなり制御不能になる可能性が高くなります。

備考

経験の浅いライダーは正しい車両の乗り方について正式なトレーニングを受け、車両の操作に十分慣れておくことをお勧めします。初心者は適度な速度で運転しながら、さまざまな条件で経験を積む必要があります。

路面や風の状態に十分注意してください。どのような車両であっても、以下のような影響を受ける可能性があります：

- ★ 対向車からの強風
- ★ 荒れていたり凹凸がある路面
- ★ 滑りやすい路面

安全運転のヒント / ガイドライン

これらの力は車両の操縦特性に影響を与える可能性があります。その場合は車両の速度を制御可能な状態まで落としてください。急ブレーキをかけないでください。

- 安全運転をしましょう。車両は事故の際に自動車と同じようには保護されないことを覚えておいてください。最もよくある事故の状況は相手の車両・ライダー／自動車・ドライバーが車両を見落としたり認識しなかったりして、対向車のに衝突してしまうことです。
- 認可されたヘルメット、車両の運転に適した衣服と靴を着用してください。特に夜間は交通渋滞の中での視認性を高めるため、明るい色が最適です。ゆったりとした服やスカーフは避けてください。
- 同乗者を乗せる場合は、お客様の責任において適切な運転手順を指導してください。
- 経験豊富な熟練ライダーであり、あなたの車両の動作条件に精通していない限り、いかなる状況でも他の方にあなたの車両を運転させないでください。

警告

- 定期的にショックアブソーバーとフロントフォークを点検し、漏れがないか確認してください。摩耗した部品は交換してください。摩耗した部品は安定性と操縦性に悪影響を及ぼす可能性があります。
- 排気ガスには有害な一酸化炭素や、がん、先天異常、その他の生殖障害を引き起こす可能性のある化学物質が含まれています。これらは車両の耐久性や寿命の操作に影響を与える可能性があります。
- お客様の安全のために、記載されているサービスやメンテナンスの推奨事項はすべて実施してください。推奨された間隔での定期的なメンテナンスを怠ると車両の安全性、耐久性、寿命に影響を与える可能性があります。

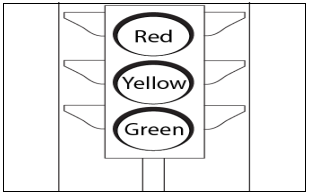
安全運転のヒント / ガイドライン

- 排気システムが熱いときは、絶対に触れないでください。乗車中は脚を完全に覆う衣服を着用してください。排気システムはエンジンが作動しているときは非常に熱くなり、エンジンを切った後でも触れないほど熱い状態です。適切な衣服や保護服を着用しないと重傷を負う可能性があります。
- 車両のバッテリーには、がん、先天異常、その他の生殖障害を引き起こす可能性がある鉛、酸、化学物質が含まれています。バッテリーを取り扱う際は細心の注意を払い、バッテリーを取り扱う毎に手をよく洗ってください。
- 車両の運転中に生じた疑問や問題については Royal Enfieldの正規サービスディーラーにご相談してください。これを怠ると初期の問題を悪化させたり、高額な修理が必要になったり、身の危険を招く恐れがあります。
- 車両を牽引しないでください。牽引ロープの力により牽引された車両の操縦性と操作性が損なわれます。車両を輸送する必要がある場合はトラックまたはトレーラーを使用してください。
- 車両の後ろでトレーラーを引かないでください。トレーラーを牽引するとブレーキ効率が低下し、タイヤに過負荷がかかり、操縦が不安定になり、車両の制御が失われて事故につながる可能性があります。

交通ルール

- ナンバープレートは法律で定められた位置に取り付け、常にはっきり見えるようにしてください。
- 路面の状態に応じて安全な速度で走行してください。以下の路面を走行する際は細心の注意を払ってください。
  - ★ ほこりっぽい
  - ★ 油が垂れている
  - ★ 凍結している
  - ★ 濡れている
  - ★ 砂や砂利がある
- 車両の安定性を妨げる可能性のある、落ち葉や滑りやすい物質、砂利などの細かいダストに注意してください。
- 対向車とすれ違うときは道路の中心線の正しい側を通ってください。
- 同じ方向に進む他の車両を追い越すときは、方向指示器を作動させて注意を払ってください。交差点、カーブ、または坂を上る/下るときに同じ方向に進む他の車両を決して追い越そうとしないでください。
- 交差点では、左側または右側の車両に道を譲ってください。自分が優先だと思ってはいけません。
- 停止、曲がる、追い越しをするときは、自国の交通ルールに従ってください。右折または左折するときは歩行者、動物、および他の車両に注意してください。
- 交差点の手動制御を含むすべての交通標識に対して必ず従ってください。学校の近くの交通標識や踏切の注意標識では速度を落としてください。
- 曲がる場合は、曲がる地点に到達する少なくとも 30 メートル手前に合図をしてください。センター ラインに寄り、速度を落として慎重に曲がってください。
- 信号を無視しないでください。交差点で信号が青から赤（またはその逆）に変わるときは、速度を落として信号が青に変わるまで待ちます。黄色や赤の信号では、絶対に走り抜けないでください。

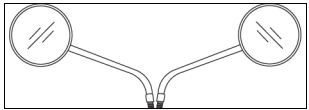
交通ルール



- 合図なしに縁石や駐車場から離れないでください。走行中の車道に進入する場合は、道を空いていることを確認してください。走行中の車線には常に優先権があります。
- 車両を駐車するときは転倒を防ぐために、しっかりとした平坦な場所に駐車してください。
- 車両を盗難から守りましょう。車両を駐車した後はステアリングヘッドがロックされていることを確認しイグニッションキーを抜いてください。

サイドビューミラー

車両には凸面鏡が装備されており曲面になっています。



通常の平面鏡に比べ、後方視界が広くなるように設計されています。しかし、このタイプの鏡で見る車などは平面鏡で見るよりも小さく、遠くに見えることになります。
これらのミラーに映る車両/物体の大きさや距離を判断するときは注意してください。サイドミラーを緩めて調整するにはツールキットにある道具を使って調整してください。

備考

ミラーを通してバイクの後ろにある車両や物体との相対的な距離を測るには運転姿勢を参考にして、肩の小さな部分が見え、車両の後ろの大部分がはっきりと見えるように各ミラーを調整します。

アクセサリーと荷物

Royal Enfieldは車両と共に徹底的にテストされて承認された純正バイクアクセサリーを幅広く提供しています。
したがってアクセサリーを取り付けたり追加の重量を載せる際はライダーが車両の安全な操作に責任を持つ必要があります。
同乗者を乗せたり荷物を運ぶとき、またはアクセサリーを取り付けるときは、以下のガイドラインに従ってください。

- アクセサリーを装備した車両で一人乗車、二人乗車、または荷物を積載する場合は時速 110 km (68.3 mph) を超えないようにしてください。
- 荷物の重量をバイクの近く、できるだけ低い位置に置いてください。これにより車両の重心が急激に変わることを最小限に抑えられます。
- 車両の両側に均等に重量を分散します。
- ライダーの後ろにかさばる荷物を積んだり、ハンドルやフロントフォークに重量を加えたりしないでください。
- 荷物がしっかりと固定され、走行中に動かないように定期的に再点検してください。アクセサリーが緩く取り付けられていると車両の走行に影響を及ぼし車両の操縦性と安定性に影響を及ぼす可能性があります。
- フェアリング、フロントガラス、バックレスト、ラゲッジラックなどの表面の大きなものは車両のハンドリングに悪影響を及ぼす可能性があります。車種別のRoyal Enfield 純正アクセサリーのみを使用し、取り付け手順に従ってください。

アクセサリーと荷物

警告

- 車両に重量物を積んだり、アクセサリーを不適切に取り付けたりしないでください。車両の安定性、操縦性、安全な操作に影響を及ぼし重大な傷害や死亡事故につながる可能性があります。
- Royal Enfieldは車両と共に徹底的にテストされて承認された純正バイクアクセサリーを幅広く提供しています。
- Royal Enfieldはアフターマーケットやカスタムメイドのフロントフォークやサスペンションなど、性能やハンドリングに悪影響を及ぼす可能性のある非標準部品を使用しないように注意しています。オリジナル部品を取り外したり変更したりすると車両の性能に悪影響を与え、事故を引き起こし、重傷や死亡につながる可能性があります。
- モデル / 設計仕様を無視しないでください。無視すると車両とアクセサリーの両方の誤用となり車両の操縦性と性能に悪影響を与え、事故を引き起こし、重傷または死亡につながる可能性があります。

荷物のカテゴリー（装備されている場合）

- トップボックス（Royal Enfield 純正アクセサリー）の最大許容重量は 3kg です。この重量制限を超えないようにしてください。

技術仕様

エンジン タ

エンジン タイプ	直列 2 気筒、4 ストローク、SOHC
ボア	78 mm
ストローク	67.8 mm
排気量	647.95 cc
圧縮比	9.5:1
最大出力	34.6 kW @ 7250 rpm
最大トルク	52.3 Nm @ 5650 rpm
アイドリング RPM	1200 ± 100 rpm
始動方式	電動
エアフィルターエレメント	ペーパーエレメント
潤滑	強制潤滑、ポンプ駆動オイル供給によるウェットサンプ
燃料供給	燃料噴射
冷却	空冷

イグニッションシステム

点火装置	デジタルスパークイグニッション
点火進角	11.25° BTDC
スパークプラグ	BOSCH UR5CC
スパークプラグギャップ	0.7 mm ～ 0.8 mm

技術仕様

トランスミッション

クラッチ	湿式多板
プライマリドライブ	ギア
プライマリ比	2.05:1
ギアボックス	6速コンスタントメッシュ
ギア比	1速 2.615:1
	2速 1.813:1
	3速 1.429:1
	4速 1.190:1
	5速 1.040:1
	6速 0.962:1
セカンダリドライブ	スプロケットとチェーン (5/8 ピッチ)
セカンダリ比	2.667:1

シャシー

フレーム	スチールチューブブラースパインフレーム

サスペンション

フロント	倒立テレスコピックフォーク
リア	ツインショック

ブレーキ

フロントディスク	シングル 320 mm ディスク、ツインピストンフローティングキャリパー
リアディスク	シングル 300 mm ディスク、ツインピストンフローティングキャリパー
ABS	デュアルチャネル

技術仕様

ホイールのタイプ	スタンダードタイプ
フロント（アルミホイール）	100/90-18 M/C 56H CEAT ZOOM CRUZ Z F TL
リア（アルミホイール）	150/70 R17 M/C 69H CEAT ZOOM RAD STEEL Z TL

ホイールのタイプ	一人乗車	二人乗車
フロント	32 psi	32 psi
リア	36 psi	42 psi

ステアリングロック ..... イグニッションバレル (33 度)
燃料タイプ ..... 無鉛プレミアムガソリン
燃料供給 ..... 電子燃料噴射
燃料タンク容量 ..... 13.8* L、使用可能 (11.9 L)
燃料残量警告 ..... 3.8* L、使用可能（2.1 L）
デッドストック ..... 1.7 L

* 上記の値は概算であり、実際の燃料充填容量は記載された値と異なります。

技術仕様

エレクトリカル

システム	12V - DC
発電	オルタネーター
オルタネーター出力	156 W @ 1100 rpm
バッテリー	12V - 12 Ah VRLA
ヘッドランプ	FPL 1.55 W LED、ロービーム 12.12 W、ハイビーム + ロービーム 14.22 W
ブレーキランプ	4.5 W、LED
テールランプ	2.5 W、LED
方向指示器	12 V、10 W
インストゥルメントクラスター	アナログ速度計付きデジタルディスプレイ
ホーン	430 Hz 高音
スターターモーター	12V、0.8 kW
充電ポート	USB 2.0 タイプ C - 出力 5 V、2 A

警告

指定定格以外の電球 / 電気機器を使用すると、電気システムの過負荷 / 異常動作 / 早期故障につながります。
Royal Enfield が承認していない改造や取り付けは、車両の性能に重大な影響を与え、保証が無効になります。

技術仕様

寸法

レイク / ヘッド角度 ..... 27.57 度
フロントリムサイズ ..... MT 2.5 × 18
リアリムサイズ ..... MT 4.25 × 17
全長 ..... 2220 mm
幅 ..... 820 mm
全幅 ..... 835 mm（バーエンドマウント）
全高 ..... 1105 mm
ホイールベース ..... 1465 mm
地上高 ..... 141 mm

重量

車両重量（90% 燃料とオイル）... 240 kg
車両総重量 ..... 428 kg

備考

- 上記の値 / 寸法は参考値です。
- 車両は継続的に改良されているため、仕様は予告なく変更される可能性があります。

推奨潤滑剤

エンジンオイル			フロントフォークオイル	ブレーキフルード
グレード	10W-50からAPI SL（またはそれ以上） JASO MA2、ELF MOTO4 TECH 10W 50		SS-47G	DOT 4*
容量	1速　ドライフィル：3.9 L	補充：3.1 L	RH フォーク：544 ml（約） LH フォーク：555 ml（約）	フロント：50 ml（約） リア：100 ml（約）

注意

不適切なオイルグレードを使用すると部品の寿命が短くなりパフォーマンスに重大な影響を及ぼします。
*DOT 4 と他のブレーキフルードは混ぜないでください。

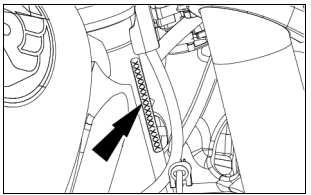
備考

1. 推奨事項は予告なく変更される場合があります。
2. 上記の値は概算であり、実際の容量は異なる場合があります。

車両の識別番号

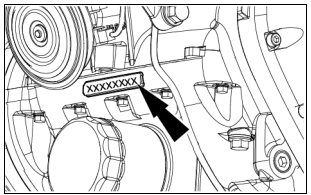
車台番号

車台番号 (VIN) はで右側のステアリングヘッド チューブ右側に刻印された 17 桁の番号です。



エンジン番号

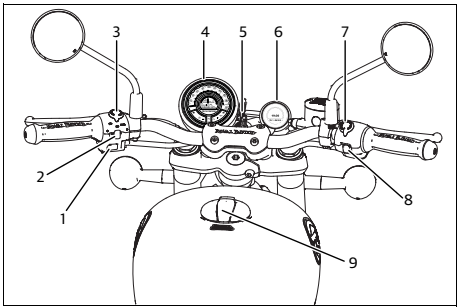
エンジン番号はオイル フィルター上部に刻印された 8 桁の番号です。



注意

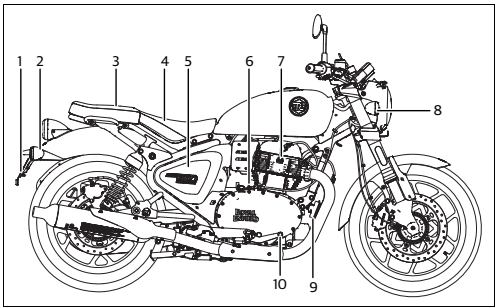
車両の車台番号 (VIN)/ エンジン番号を改ざんまたは変更することは違法であり、法律に違反するだけでなく車両登録と保証が無効になります。

主要部品の位置



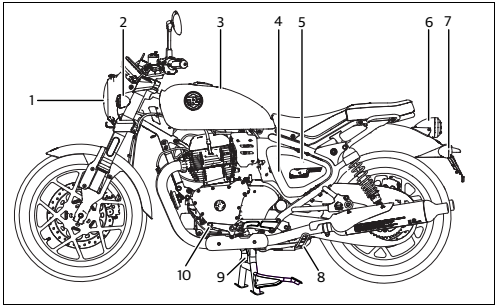
1. ホーンボタン
2. 方向指示器スイッチ
3. ハイビーム / ロービーム / フラッシングスイッチ
4. インストゥルメントクラスター
5. イグニッションキー
6. トリッパー（装備されている場合）
7. イグニッション / エンジンキルスイッチ
8. ハザードスイッチ
9. 燃料タンクキャップ

主要部品の位置



1. ナンバープレートイルミネーション
2. 右後方向指示器
3. パッセンジャーシート
4. ライダーシート
5. 右サイドパネル
6. スターターモーター
7. スパークプラグ
8. 右前方向指示器
9. ホーン
10. ブレーキペダル

主要部品の位置



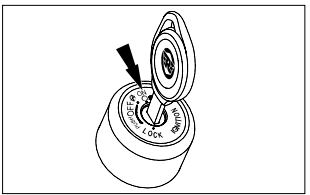
1. ヘッドランプ
2. 左前方向指示器
3. 燃料タンク
4. USB 充電ポート（インサイドパネル）
5. 左サイドパネル
6. テールランプ
7. 左後方向指示器
8. サイドスタンド
9. センタースタンド
10. ギアチェンジペダル

制御操作

イグニッションキー

⊠ “OFF”

○ “ON”



備考

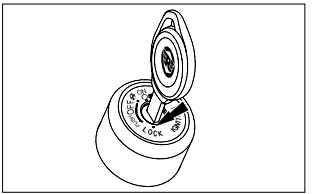
- キーはイグニッションがオフになっているかステアリングがロックされている場合にのみ抜くことができます。
- キーはイグニッション、燃料タンクロック、ステアリングロック、パッセンジャーシート共通です。
- キーは、キースロットからロックされた位置でのみ、燃料タンクとパッセンジャーシートから抜くことができます。

警告

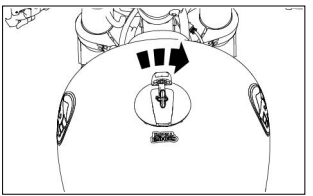
- 運転中はイグニッションスイッチを OFF にしないでください。
- そうすることで事故の原因となり車両に重大な損傷を与えるだけでなく、ライダーと他の道路利用者の両方に重傷を負わせる恐れがあります。

ステアリングロック

- ハンドルバーを一番左の位置まで回します。
- キーを OFF の位置に押し込み、押したままさらに反時計回りに回してステアリングシステムをロックします。
- キーを時計回りに回してステアリングのロックを解除します。



燃料タンクキャップ



■ 燃料タンク キャップのキー フラップを持ち上げてキーを挿入します。
■ キーを時計回りに回してオープンにします。
■ キーを所定の位置に固定してキャップを押してロックします。
■ キャップからキーを抜き、フラップを閉じます。

警告

■ 燃料タンクに燃料を入れ過ぎないでください。
■ 燃料はアンチスプラッシュプレートの底までのみ入れてください。
■ 過剰に充填するとガソリンがEVAPキャニスターに入り、蒸発排出システムが損傷する可能性があります。

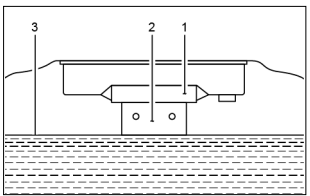
注意

■ ガソリンは揮発性、爆発性が非常に高いです。給油中は近くに火気や火花がないことを確認し、換気の良い場所でのみ給油してください。
■ ガソリンが塗装面にこぼれないように注意してください。ガソリンが塗装面にこぼれた場合は、永久的なシミが残る可能性があるため、すぐに拭き取ってください。
■ 給油中や燃料タンクのキャップが開いているときは喫煙しないでください。

制御操作

燃料充填レベル

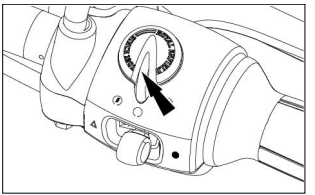
1. 燃料フィラーカラー
2. アンチスプラッシュプレート
3. 最大フューエル レベル



イグニッション /エ ンジンキルスイッチ

⊠ “OFF”

○ “ON”

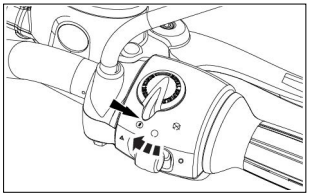


注意

■ 車両を長時間停止する場合はバッテリーの放電防止のためにイグニッションキーを OFF にしてください。

Eス タートスイッチ

エンジンが始動するまで電動スイッチを最大 5 秒間押し続けます。



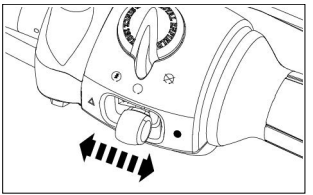
ハザードライトスイッチ

⚠ "ON"

● "OFF"

注意

■ ハザード点滅はバッテリーに負担をかけます。必要がない限りハザードランプを長時間使用しないでください。



ハザード点滅を作動させる方法：

■ イグニッションスイッチをONにし、ハザードコントロールを ON の位置にスライドします。手動で解除（OFF）しない限りハザードは作動します。

■ イグニッションスイッチをONにし、ハザードコントロールを ON の位置にスライドします。ハザードが作動し始めます。イグニッションスイッチを OFF にします。

- ハザードは 30 分間作動し続けます
- 手動で OFF にしない限り。

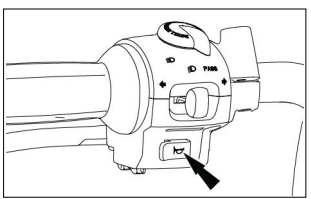
制御操作

警告

- ハザードランプスイッチが「ON」のときは方向指示器は作動しません。
- すべての方向指示器が同時に点滅します。

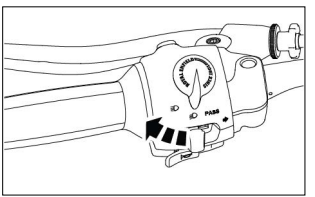
ホーン

ホーンボタンを押すとホーンが鳴ります。



ハイビーム /ロービームスイッチ

- ヘッドランプが「ON」の状態のとき、スイッチを切り替えることでハイビーム / ロービームが選択されます。ハイビームが選択されると、インストゥルメントクラスターにあるハイビームインジケーターが点灯します。



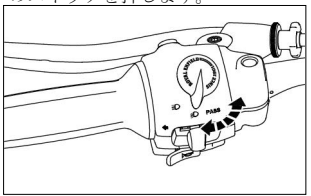
ハイビーム

ロービーム

制御操作

フラッシュスイッチ

点滅スイッチのスイッチを押します。

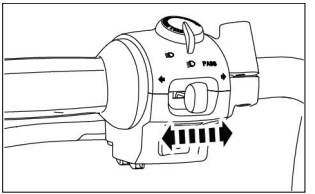


方向指示器スイッチ

⇦ 左方向指示器「ON」

⇧ 「OFF」（押すとキャンセル）

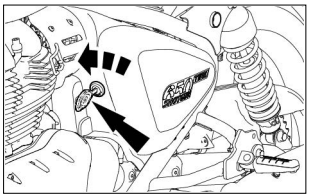
⇨ 右方向指示器「ON」



必要に応じて曲がる前にボタンをOFFの位置から左または右に押します。方向指示灯をキャンセルするには中央の位置に戻した後にスイッチを押し込みます。

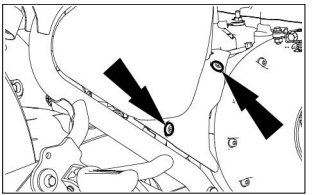
左サイドパネル

- キーを反時計回りに回してサイドパネルのロックを解除します。
- 左サイドパネルをゆっくりと開きます。



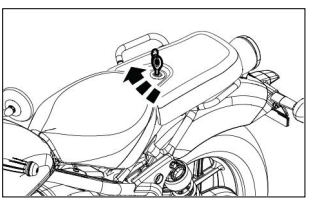
右サイドパネル

- 右サイドパネルはツールキットに含まれている 5 mm の六角レンチを使用して 2 つのボタンヘッドネジを緩めて取り外し、リザーバーパネルを取り外します。
- サイドパネルをロケーターから引き抜いて外し、サイドパネルを慎重に取り外します。

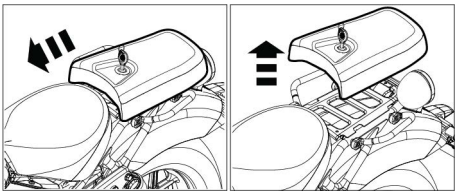


パッセンジャーシートとライダーシートの取り外し

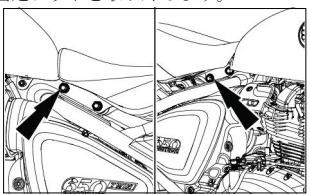
- キーを挿入し、時計回りに回します。



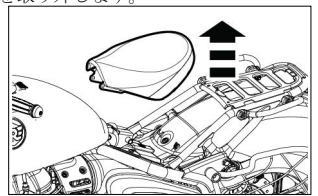
■ キーを所定の位置に保持したままシートを前方にスライドさせて取り外します。



■ 14 mm ソケットとラチェットを使用して下部の 2 本のボルトと固定ナットを取り外します。



■ シートの後部を持ち上げて後方にスライドさせ、ライダーシートを取り外します。

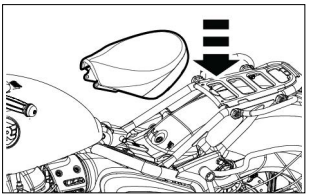


備考

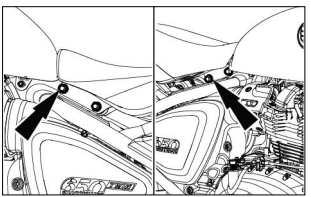
取り外したシートは傷や汚れが付かないように安全な場所に置いてください。

パッセンジャーシートとライダーシートの取り付け

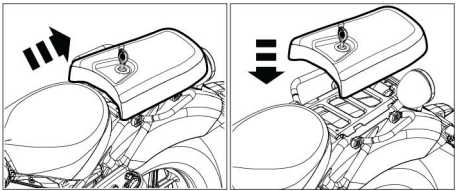
■ ライダーシートの取り付け穴がフレームと一致していることを確認します。



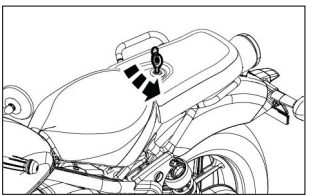
■ 下部の 2 本のボルトと固定ナットを 45 Nm まで締めます。



■ パッセンジャーシートを置き、後方にスライドさせて位置を確認します。

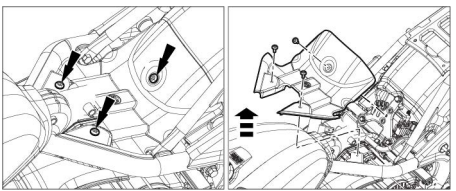


■ キーを反時計回りに回してパッセンジャーシートをロックし、キーを抜きます。

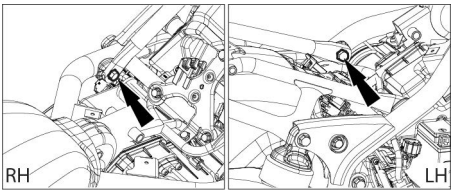


サブフレームの取り外し

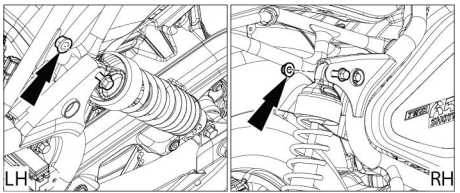
- 推奨手順に従ってパッセンジャーシートとライダーシートを取り外します。
- ツールキットに含まれている 5 ㎜ 六角レンチを使用して上部のインフィルパネルから3本のボタンヘッドボルトを緩めて取り外します。
- 上部のインフィルパネルを慎重に取り外します。



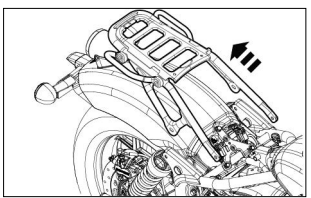
- ラチェット付きの14 ㎜ソケットを使用して各サブフレームレールの端の内側から六角ボルトを緩めて取り外します。



- ラチェット付きの14 ㎜ソケットを使用して固定ナットを外し、六角ボルトを LH および RH ショックアブソーバーの上部マウントから部分的に取り外し、ショックアブソーバーを所定の位置に維持しながらサブフレームをマウントからスライドさせます。



■ サブフレームをシャシーから慎重に取り外します。

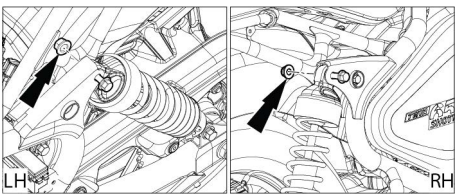


注意

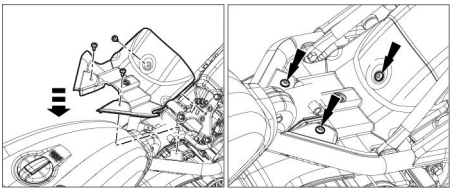
サブフレームをシャシーから取り外す際にテールライトやリアマッドガードに傷がつく可能性があります。これを防ぐためにサブフレームとテールライトの間に布を挟みます。

サブフレームなしのライダーシート取り付け

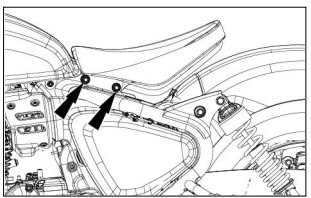
■ 2 本の六角ボルトと固定ナットをLHおよびRHショックアブソーバーの上部マウントに再配置し、50 Nmで締めます。

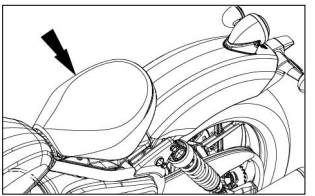


■ 上部のインフィル パネルをフレームに戻し、3 本のボタンヘッドボルトを 8 Nmで締めます。



■ ライダーシートの取り付け穴がフレームと一致していることを確認します。下部の 2 本のボルトと固定ナットを 45 Nm まで締めます。





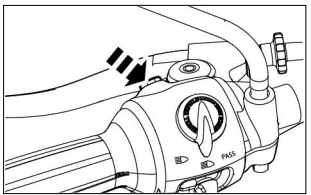
備考

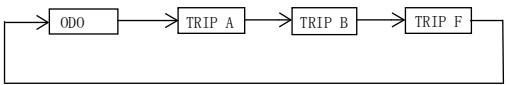
さらにサポートが必要な場合は最寄りの Royal Enfield 認定サービスディーラーにお越しください。

制御操作

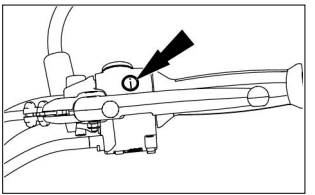
INFOボタンの詳細

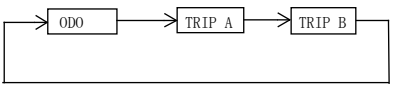
■ LCD シーケンス（INFO スイッチの押し時間が 1 秒未満）: - Trip F が有効な場合





■ Trip F が有効になっていない場合



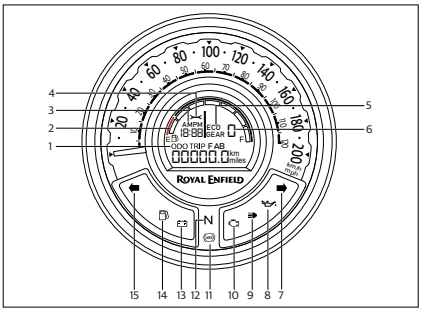


備考

■ Trip をリセットするには、INFO ボタンを 3 秒以上押します。

制御操作

インストゥルメントクラスター



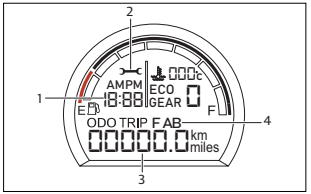
1. オドメーター / トリップメーター (A/B/F)
2. 燃料計
3. 時計
4. サービスリマインダー
5. ECO モード
6. ギア表示
7. 右折インジケーター
8. 低油圧インジケーター
9. ハイビームインジケーター
10. エンジン警告灯
11. ABS 警告灯
12. ニュートラルインジケーター
13. バッテリー低電圧インジケーター
14. 低燃料インジケーター
15. 左折インジケーター

免責事項

■ 陽のあたる状態ではクラスターユニットの表示が少し見えにくく場合がありますが、これはクラスターユニットへの直射日光の影響によるものであり、正常です。

制御操作

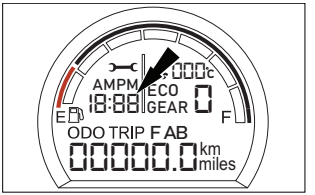
メイン LCD



1. 時計
2. サービスリマインダー
3. オドメーター
4. トリップ値 (A/B & F)

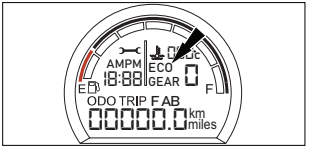
時計

- AM/PM 表示付きの 12 時間形式で表示します。
- バッテリーが取り外されると 12:00 AM にリセットされます。



ECOモード

- 車両が最適なエンジン回転数とギア比で走行しているとき、インストゥルメントクラスター上の ECO インジケーターが表示されます。道路状況や積載量も考慮されます。



制御操作

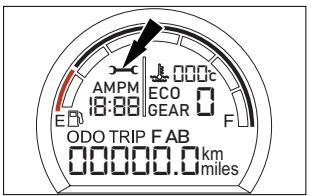
機能	スイッチ	押す時間	アクション
時間設定モード	INFO	INFOスイッチを3秒間押し続けます	イグニッションON、ODOモードで現在の表示があり、停止状態（安全な状態）でINFOボタンを指定時間押して時計設定モードに入ります（時間表示が点滅します）
	INFO	INFOスイッチを押して離す	時計の時間数字が増える
	INFO	INFOスイッチを3秒間押し続けてから離す	分モードに入る（分表示が点滅します）
	INFO	INFOスイッチを押して離す	時計の分数字が増える
	INFO	INFOスイッチを3秒間押し続けてから離す	ユニットモードに入る（AM / PMが点滅します）
	INFO	INFOスイッチを押して離す	AMとPMを切り替える
	INFO	INFOスイッチを3秒間押し続けてから離す	データを保存して時間設定モードを終了する

備考

■ 時間設定機能の間に 20 秒以上何も操作が行われなかった場合は最後に表示された値が表示されます。

サービスリマインダー

■ サービスリマインダーシンボルがONになりましたら認定サービスディーラーで定期メンテナンスを受けてください。



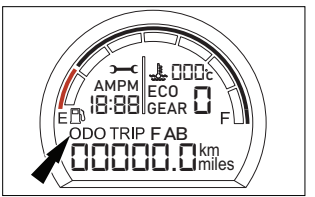
■ サービスリマインダーはメンテナンス完了後、認定サービスディーラーのみがリセットできます。

■ オドメーターが表示した以下の距離に応じてサービスリマインダーシンボルが点滅します。

i) 1st service - 450 kmまたは279.6マイル
ii) 2nd service - 4,900 kmまたは3044.7マイル
iii) それ以降は前回の値から 5,000 kmまたは 3106.8 マイル毎（例:9,900 kmまたは 6151.5 マイル、14,900 kmまたは 9258.4 マイルなど）

オドメーター

■ 車両が走行した累計距離数を表示します。



制御操作

機能	スイッチ	押す時間	アクション
ODO	INFO	INFOスイッチを押して離す	イグニッションキーを「ON」にするとクラスターにODO kmが表示され、Trip Aモードに入ります
TRIP A	INFO	INFOスイッチを押して離す	Trip A表示モードからTrip Bモードに入る
	INFO	INFOスイッチを3秒間押し続けてから離す	Trip Aのkm値をリセット
TRIP B	INFO	INFOスイッチを押して離す	Trip B表示モードとODO/Trip F（有効な場合）モードに入る
	INFO	INFOスイッチを3秒間押し続けてから離す	Trip Bのkm値をリセット

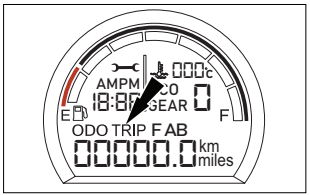
備考

Trip A/Trip B - 999.9 km および ODO - 99999.9 km を記録した場合、通知なしで自動的に再びゼロにリセットされます。

制御操作

TRIP「F」モード

■ 燃料残量警告灯が「ON」になった後の走行距離



■ リセットできません。燃料不足状態が検知された場合にのみ表示され、燃料不足状態以上に燃料が給油されると消えます。

■ この状態で INFO ボタンを使用してディスプレイを切り替えることができますが、サイドスタンドを立てた状態のときにリセットを回避するためにスタンドスイッチにリンクされて 25 秒後に自動的に表示されます。

■ Trip F 状態で 200 km（124.2 マイル）以上走行すると LCD に「Low Fuel」が点滅し続けます。燃料ポンプが損傷する恐れがあるため、このような状態で運転し続けないことをお勧めします。

TRIP「F」の条件

■ Trip F はキルスイッチが ON の状態の場合にのみ更新されます。

■ 燃料がリザーブレベルを超えて給油しても Trip F が数分間表示され続けますが、これは正常な動作であり誤った表示を避けるためのものです。

■ Trip F のリセットは頻繁な燃料振動により荒れた道路を走行しているときに発生します。この機能は参照目的のみで、滑らかな路面で使用されます。

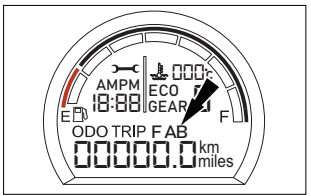
■ Trip F は、サイドスタンドが払われている場合にのみ更新されます。

備考

■ 燃料表示は悪路、上り坂、下り坂の状況によって異なります。正確な表示については低速時または平坦な路面での表示を参照してください。

TRIP A/B

■ Trip A/B は、特定の Trip での移動距離を示します。

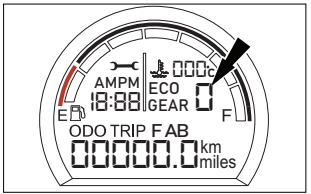


警告

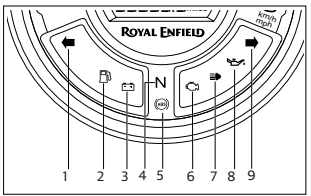
■ 運転中は絶対にINFOボタンを操作しないでください。集中力が失われ、運転が不安定になり事故につながる可能性があります。車両に重大な損傷を与えるだけでなく、ライダーと他の道路利用者の両方に重大な傷害を与える可能性があります。

ギアポジションインジケーター

■ 車両が走行しているギア位置を表示します。
■ ニュートラルの場合は「0」が表示されます 0。
■ ギアが入っているときは 1 ～ 6 の適切な数字が表示されます。



TELL TALES



1. 左折： 左折ターンシグナルを ON にする。
2. 燃料不足表示： 燃料不足状態の場合、燃料不足表示灯「ON」とともに最後のセグメントが点滅します。
3. 低バッテリー表示： イグニッションスイッチが「ON」でエンジンが作動していない場合はインジケーターが点灯し続けます。エンジンを始動するとすぐに表示が消えます。バッテリー電圧が 12 V を下回るとインジケーターが点灯し、バッテリー電圧が低いことを示します。
4. ニュートラルインジケートランスミッションがニュートラルの状態です。
5. ABS 警告灯： 初期点検中（車両が一定の距離 / 速度で走行するまで、または走行した後）は継続的に点灯し、システムに問題がなければ消灯し、ABS システムに不具合がある場合は再び点灯します。
6. EMS 故障インジケーター： EMS 故障の場合は継続的に「ON」になります。
7. 7. ハイビームインジケーター ： ヘッドランプハイビームが点灯します。
8. 油圧低下インジケーター： 油圧が低すぎると、このインジケーターが点灯します。
9. 右折： 右折ターンシグナルを ON にする。

備考

■ エンジン始動後、テルテールライトは「OFF」になります。

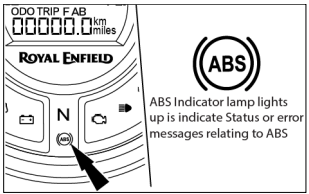
注意

■ 故障が継続して「ON」のままの場合はECU とセンサーに重大な損傷を与える可能性があるため車両を運転しないでください。EMS の欠陥を診断して修理するには最寄りのRoyal Enfield 認定サービスディーラーにご相談ください。

■ ABSインジケーターランプが点灯したままの場合は車両を走行させないでください。

ABSイ ンジケーターランプ

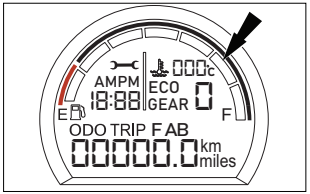
■ イグニッションとエンジンキルスイッチが「ON」の位置になっていると ABS サインが点灯し、車両の速度が 5 km/h (3.1 mph) に達するまで「ON」のままになり、その後「OFF」になります。ABS システムに不具合がある場合は再度点灯します。



注意

■ ABS インジケーターランプが 5 km/h (3.1 mph) を超えて継続的に「ON」になっている場合は車両を走行させないでください。

燃料ゲージ



- 7セグメントのバーグラフデジタル。
- 燃料不足状態の場合、燃料不足表示灯「ON」とともに最後のセグメントが点滅します。

警告

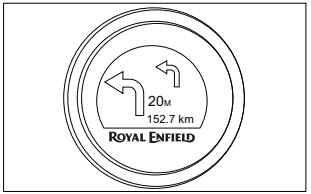
- 最後のセグメントの燃料表示が点滅している状態で車両を長時間使用しないでください。できるだけ早く燃料を給油してください。
- これを怠ると燃料ポンプに重大な損傷が発生するだけでなく、車両の燃料がなくなり動けなくなってしまいます。

ユニット切り替え

- ギアをニュートラルモードに変更し、イグニッションスイッチを OFF にします。
- 情報ボタンを押したまま、イグニッションスイッチを ON にします。
- イグニッションスイッチが ON のときに、情報ボタンを約 15 秒間長押しします。
- ODO の読み取り値がマイルから km に、またはその逆に変わります。

制御操作（装備されている場合）

トリッパー

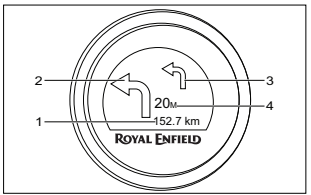


- トリッパーはライダーが携帯電話を操作せずにに運転できるように、ターンバイターンナビゲーションとして提供されています。このデバイスはGoogleマップのサポートにより、Royal Enfieldモバイルアプリに基づくナビゲーション検索を備えたBluetooth接続により動作します。
- このデバイスは運転しやすいように直感的に設計された独自の矢印フォントを備えたカスタム設計された丸型カラー TFT でターンバイターンナビゲーションを表示できます。
- 背景表示は昼モードと夜モードの間で切り替えることができ、ライダーはRoyal Enfieldモバイルアプリから選択できます。
- QR コードを読み取りダウンロード、インストール、登録を行い、トリッパーの詳細を確認してください。



1. 目的地までの距離または到着予定時刻:
2. 主な方向または次の曲がり角
3. 二次方向または次の曲がり角の次の方向:
4. 次の曲がり角までの距離

制御操作（装備されている場合）



特徴：

- ターンバイターンナビゲーション（プライマリターン、セカンダリターン）。
- 次の曲がり角までの距離、目的地までの距離、または到着予定時刻。
- 時計表示（接続なし、ナビゲーション入力なし、または目的地到着後の場合）。
- ユーザーは昼と夜のモードを選択できます（Royal Enfield モバイルアプリ経由のみ）。
- 携帯電話の低バッテリー表示。

免責事項：

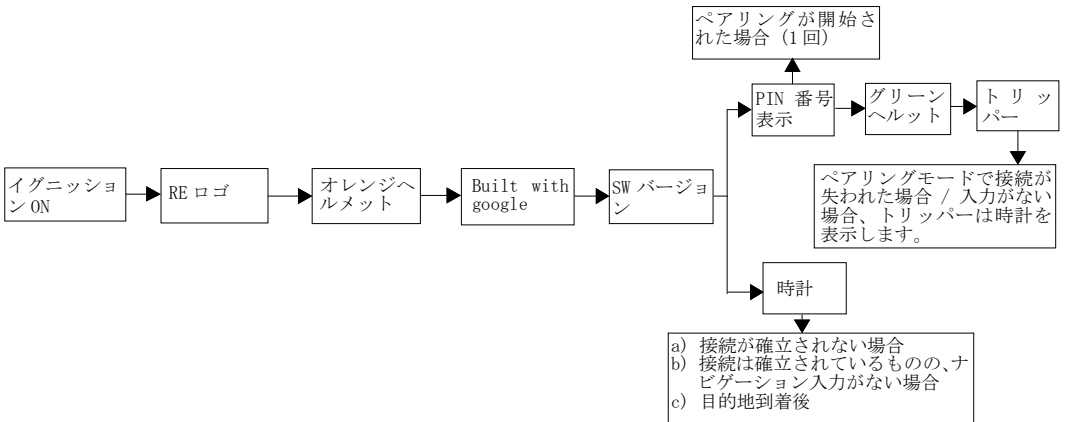
- 陽のあたる状態ではトリッパー ユニットの表示が少し見えにくく場合がありますが、これはユニットへの直射日光の影響によるものであり、正常です。
- 主な方向または次の曲がり角 ； 次の曲がり角と距離を表示します。
- 次の曲がり角までの距離 ： 次の曲がり角までの距離を表示します。
- 二次方向または次の曲がり角の次の方向 ： 一次方向の次に進むべき曲がり角を示します。一次方向が 100 m 未満の場合にのみ表示され、曲がり角がない場合は、この領域の表示は空白になります。
- 目的地までの距離または到着予定時刻 ： 目的地までの合計距離または到着予定時刻を表示します（Royal Enfield モバイル アプリで選択した内容に基づきます）。

Royal Enfield モバイルアプリを使用するためのスマートフォン対応バージョン：

- Android および iOS と互換性があります。
- Android サポート： 現行のバージョン（-2）。
- iOS サポート： 現行のバージョン（-1）。
- 接続制御は Royal Enfield モバイルアプリからの能です。

制御操作（装備されている場合）

トリッパー – ディスプレイフローシーケンス



制御操作（装備されている場合）

備考

- イグニッション「ON」サイクルごとに、トリッパーは 120 秒間検出可能モードになります。
- 120 秒以内に接続が確立されない場合、ディスプレイは時計モードに入り接続を再開するためにイグニッションの「OFF - ON」サイクルが繰り返されます。
- ナビゲーションモード中にスマートフォンからの入力が 5 秒間ない場合、電力消費を避けるために Bluetooth 接続が終了し時計が表示されます。
- Bluetooth 接続はエンドユーザーがモバイルアプリケーションを閉じることによっても終了できます。
- 初めてペアリングする場合、ユーザーは Royal Enfield モバイルアプリを通じてトリッパーに表示されるセキュリティ保護されたPINを入力してデバイスをセットアップする必要があります。その後、同じデバイスが接続されると、自動的にペアリングが行われます。
- トリッパーがペアリングされるたびに時計の時刻はモバイルの時刻と同期されます。その後は切断された場合でも内部時計で動作し続けます。インストゥルメントクラスターとトリッパーに表示される時刻には時間差があります。クラスターのプッシュボタンマネージメントで説明されているように必要に応じてトリッパーに表示さる時刻に合わせてクラスターの時刻を更新する必要があります。
- インストゥルメントクラスターまたはトリッパーの清掃や拭き取りにガソリン/ガソリン関連の液体を塗布または使用しないでください。永久的な損傷を引き起こす可能性があります。

注意

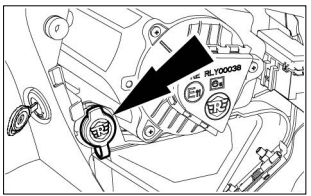
- 接続を確立している間はイグニッションが ON になっており、ディスプレイに電源が入っていることを確認してください。
- クロス接続を回避するために最初のペアリングは隔離された環境で行ってください（1 回）。

制御操作（装備されている場合）

- 昼と夜のモードはユーザーのみが選択可能で、ライダーの注意散漫を避けるため夜間の運転中に自動的に選択されるように切り替わることはありません。
- Bluetooth 接続は Royal Enfield モバイルアプリを通じてのみ確立できます。
- 使用前に Bluetooth と位置情報設定が常に「ON」になっていることを確認してください。
- ナビゲーションを低バッテリーモードで動作させるにはスマートフォンのバッテリー最適化設定 / 低バッテリーカットオフ設定を無効にしてください。
- Royal Enfieldモバイルアプリは Android（現行バージョン（-2））および iOS（現行バージョン（-1））でのみ動作します。それ以下のバージョンではパフォーマンスの遅延が予想されます。
- トリッパーBluetooth バージョンは 4.2 です。Bluetooth 接続が失われると、トリッパーの時間表示がモバイルデバイスに表示される実際の時間と一致できなくなる場合があります。
- Royal Enfield モバイルアプリは Bluetooth バージョン 4.2 および N+1.0 で動作します。それ以下のバージョンではパフォーマンスの遅延が予想されます。
- ナビゲーションに遅延がある場合はネットワーク信号強度を確認してください。
- ナビゲーションに遅延がある場合はデータ速度を確認してください。以下のバージョンと比較して 4G 帯域でのナビゲーションシステムのパフォーマンスが優れています。
- GPSの精度と位置の精度を高めるにはスマートフォンを頻繁に調整してください。

充電ポート

■ 充電ポートは左サイドパネルの内側にあります。



警告

■ 携帯電話や充電器の損傷を避けるため、雨天時に使用しないことをお勧めしますRoyal Enfieldはスマートフォンのいかなる損害についても責任を負いません。

■ 携帯電話以外のデバイスを使用しないでください。一度に充電できる携帯電話は 1 台のみです。

■ USBケーブルが正しく挿入されていることを確認してください。ケーブルの挿入が不適切または誤っていることによる損傷は保証の対象外となります。

■ 使用していないときはショートを防ぐため USB ポートキャップを開けたままにしたり半開閉の状態にしないでください。

■ ショートの原因となる可能性があるのでUSB充電ポート内に金属や導電性物質を挿し込まないしないでください。

備考

■ 充電ポートは充電目的のみに提供されており、データ転送はできません。

■ 一定速度での充電モードのみが提供されており複数のメーカーの携帯電話と互換性のある急速充電モードは提供されておらず、純正の充電器の性能と比較することはできません。

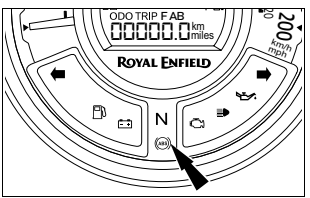
■ 充電時間は携帯電話のバッテリー容量、SOC、および携帯電話の充電回路、携帯電話のメーカーによって異なる場合があり、長くなる場合があります。

注意

■ お客様が使用していないときに USB ポートキャップが適切に閉じられ、ロックされていることを確認してください。ポートキャップが破損し適切に密閉されていない場合、保証は適用されません。
■ 2.5 Aを超える高電流が流れた場合、USB充電器はシャットダウンします。使用前に携帯電話のバッテリー定格電流を確認してください。
■ USB 充電器はエンジンが作動しているときのみ機能ます。
■ 正常に機能させるには規格認証済みの高品質のUSBケーブルをご使用してください。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

■ アンチロックブレーキシステム（ABS）は高速走行時や滑りやすい路面で急ブレーキをかけた際にブレーキが車輪をロックするのを防ぎます。これによりライダーは車両のトラクションとコントロールが向上し、事故の原因となる車両のスリップを防止できます。



■ ライダーが突然強くブレーキをかけた場合、ブレーキシステムのセンサーがABSモジュレーターに信号を送り油圧を瞬間的かつ継続的に下げることでブレーキが車輪をロックするのを防ぎ車両の速度を低下させます。これにより、ライダーは車両をコントロールしやすくなります。

■ ABS に何らかの不具合が発生した場合、ライダーに警告するためにクラスター内にABSインジケーターランプが装備されています（隣の画像を参照）。

■ イグニッションとエンジンキルスイッチが「ON」の位置になっていると、ABS サインが点灯し車両が 5 km/h （3.1 mph）に達して「OFF」になるまで「ON」のままになります。これは ABS が正常に機能していることを示します。ABS インジケーターランプが「OFF」にならず、高速でも「ON」のままである場合は、車両を運転しないでください。最寄りの Royal Enfield 認定サービスディーラーでブレーキシステムを検査して修理してください。これを怠ると、重傷や死亡につながる可能性があります。

警告表示と安全システム

注意

- ABSはパニック状態でブレーキをかけた際に車輪がロックするのを防ぐための安全機能です。決して予測制動の代わりになるものではありません。
- 特にコーナリング中は慎重に運転し、ブレーキを慎重にかけてください。　ABS はコーナリング中のバイクの「重量移動」と運動量を予測できないためトラクションの損失によるスリップを防ぐことができません。
- 走行速度に応じた停止距離を予測し、車両を安全に停止させるために早めにブレーキをかけてください。
- インストゥルメントクラスターはABSシステムの不可欠な部分であるため、適切に機能していることを確認してください。
- 車両のトラクションとコントロールを向上させて停止するには、両方のブレーキを同時にかけてください。
- 上記を遵守しない場合、重大な傷害や死亡につながる事故が発生する可能性があります。

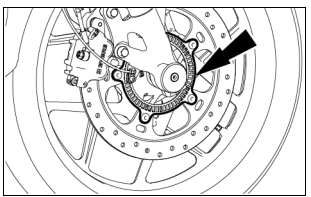
警告

- ABSが正しく作動するように、必ずRoyal Enfield純正のフロント / リアタイヤとリアスプロケットを使用してください。
- サスペンションを変更しないでください。
- ブレーキシステムには Royal Enfield が承認の推奨スペアパーツのみを使用してください。
- ABSは制動距離を短くしません。状況によってはABSにより制動距離が長くなる場合があります。

警告表示と安全システム

注意

■ フロントとリアのABSトナーリングの歯が損傷していないかを目視で検査。



■ 歯の表面に損傷や凹みがないか検査します。
■ 歯のエッジは外観が一貫していなければなりません。トナーリングに傷や曲がりがあった場合には、最寄りの認定サービスディーラーにご相談されることをお勧めします。
■ フロントとリアのホイールスピードセンサーの端にゴミがないか点検し、汚れが見つかった場合は適切に取り除くことをお勧めします。または、最寄りの認定サービスディーラーにて必要な措置を行ってください。

ロールオーバーセンサー

エンジンが作動しギアが噛み合った状態で車両がどちらかの方向へ転倒した場合、ロールオーバーセンサーが燃料システムを無効にし、エンジンをオフにします。これは車両とライダーへの損傷を防ぐためです。
ロールオーバーセンサーをリセットし、燃料システムを再起動します。
■ 車両が直立しセンタースタンドが立っていることを確認します。
■ ギアがニュートラルに入っていてインストゥルメントコンソールのニュートラルランプが点灯していることを確認します。
■ イグニッションとストップスイッチの両方をOFFにし、数秒待ってからイグニッションとストップスイッチを再度ONにしてエンジンを始動します。

警告表示と安全システム

すべきこと　すべきでないこと：(ABS)

すべきこと	すべきでないこと
■ エンジン始動後、ABS　インジケーターが点灯し車速が 5 km/h (3.1 mph) を超えると消灯することを確認してください。 ■ フロントおよびリアブレーキリザーバー内のブレーキ液レベルとブレーキシステムに漏れがないことを確認してください。 ■ 効率を上げるために両方のブレーキを同時にかけてください。 ■ ABS インジケーターが点灯したままの場合は、最寄りの Royal Enfield 認定サービスディーラーに車両を持ち込み、ブレーキ システムを点検してください。	■ 緊急時にブレーキを強くかけたときに脈動を感じても、ブレーキ レバー/ペダルを放さないでください。脈動は ABS が作動していることを示しています。 ■ ブレーキの効率が悪くなる可能性があるため、フロントブレーキまたはリアブレーキのみの使用はしないでください。

運転前のチェック

乗車前、特に長期間保管後は必ず以下の点を慎重に点検し、追加のメンテナンスが必要かどうかを確認してください。

1. 走行予定に十分な燃料がタンクに入っている。
2. タイヤの空気圧が適切で、摩耗や切れ目がない。
3. チェーンの張り具合と潤滑油が十分であることを確認する。
4. ブレーキ、クラッチ、ステアリング、スロットルの応答性が適切である。
5. 前後のブレーキレバーがスムーズに操作でき、遊びがある。
6. エンジンオイルレベルチ。
7. ヘッドランプ、テールランプ、ブレーキランプ、方向指示器が正常に機能している。
8. インストゥルメントクラスターのすべての警告灯が正常に機能している。
9. マスターシリンダーのブレーキ液レベルが「MIN」マークを超えている。
10. クラッチの遊びとクラッチ機能を確認する。

警告

お客様の健康と安全のため上記のすべての事項を定期的に実行する必要があります。これを怠ると安全な操作に影響を及ぼし、車両が損傷し、重大な傷害や死亡事故につながる可能性があります。

慣らし期間

あなたが体験するRoyal Enfieldの車両は安定した高速走行が可能です。しかし、他の新しいバイクと同様に車両のさまざまな可動部品を適切に慣らし、その後のギアシフトなどの最適なパフォーマンスを実現するために「慣らし運転期間」の手順が不可欠です。

1. 規定の最大積載量を超えないでください。
2. 乗車前にエンジンオイルがエンジン内のすべての可動部品を潤滑できるように、アイドリング回転で数分間エンジンを暖めてください。
3. フルスロットル操作を避け、一定のスロットルで連続して運転しないでください。運転中は速度を 10% ずつ変えてください。
4. 適切な速度で運転し、急加速や急ブレーキを避けてください。
5. 時間以上連続しての運転は避け、短時間の停止をお勧めします。

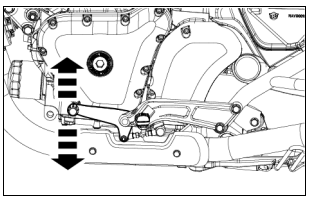
備考

■ 慣らし運転期間中は最適なエンジン性能を得るために以下の制限速度を超えないようにしてください。

ギア	車両速度			
	最初の500km (0～311マイル)		501～2000 km (311～1242 マイル)	
	kmph	mph	kmph	mph
1	35	22	50	31
2	50	31	70	43.4
3	60	37.2	90	56
4	70	43.4	110	68.3
5	80	50	120	75
6	90	56	130	81

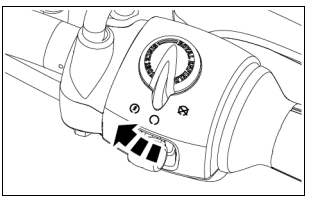
始動

■ ニュートラルにシフトするにはギアをシフトしながら車両をゆっくりと前後に動かします。ギアがニュートラル位置にありインストゥルメントクラスターのニュートラルランプが点灯していることを確認します。

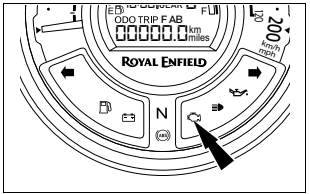


■ イグニッションキーを ON の位置に回し、右側のハンドルバーにあるエンジンキルスイッチを RUN の位置に回します。

■ イグニッションスイッチとエンジンキルスイッチの両方が「ON」の位置にあり、車両を始動すると、エンジン警告灯が数秒間点灯してから「OFF」になります。これは電子燃料噴射（EFI）システムのすべての機能が正常に動作していることを示します。EFI システムに何らかの不具合が発生した場合、エンジン警告灯は点灯し続けます。



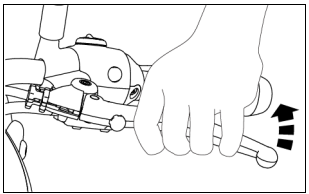
始動



注意

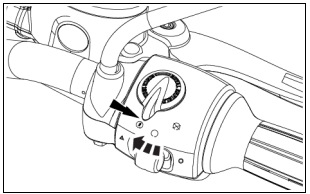
- 警告灯が消灯しない場合は Royal Enfield 認定サービスディーラーで車両を点検して修理を受けてください。
- クラスター内の燃料レベルインジケーターをチェックして燃料タンクに十分な燃料があるかどうかを確認してください。最後のバーが点滅し続ける場合はタンク内の燃料レベルが低いことを示しています。すぐに燃料を給油してください。

- クラッチレバーを引いてクラッチを切り、そのままの状態を保持します。



- エンジンが始動するまで電動スイッチを最大5秒間押し続けます。

始動



備考

- 5 秒以内にエンジンが始動しない場合は、スタータースイッチを放し、約5秒待ってから再度エンジンの始動を試みてください。
- 複数回連続して試しても車両が始動しない場合は、イグニッションスイッチをOFFにしてからあらためてONにし、再度始動してください。

使用上の注意

- 車両はサイドスタンドを立てた状態で始動できますが、ギアが噛み合うとエンジンは停止します。このサイドスタンドカットオフ機能は車両が移動/始動する前にサイドスタンドが格納されていることを確認してライダーの安全を確保するために用意されています。

注意

- エンジンが始動しない場合はスタータースイッチを長時間押したままにしないでください。バッテリーが10 Vの閾値を下回るまで放電してしまいます。Royal Enfield認定サービスディーラーで車両を点検し、始動しない原因を特定して修理してください。

始動

- 特に冷えた状態ではエンジン始動後、すぐに加速しないでください。エンジンオイルが循環して内部の可動部品すべてを潤滑し、エンジン温度が上昇するように、エンジンは少なくとも120秒間はアイドリング回転数で運転する必要があります。この重要な情報を遵守しないとエンジン内部に重大な損傷が発生します。
- アイドリング回転数が安定して一定になった後にのみ加速してください。

警告

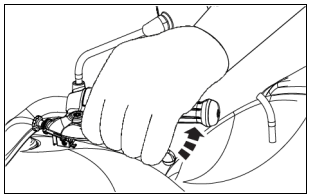
乗車する際は細心の注意を払ってください。注意を怠ると事故が発生し、ご自分や他の道路利用者 / 通行人が負傷する可能性があります。

- ギアがニュートラル位置にあり、スピードメーターのニュートラルランプが点灯していることを確認します。ニュートラルにシフトするにはギアをシフトしながら車両をゆっくりと前後に動かします。

注意

ギア機構を損傷する恐れがあるため、車両を前後に動かさずにギアをシフトしないでください。

- クラッチレバーを握ったままにします。
- スターターボタンを押し、エンジンが始動するまで押し続けます。エンジンが始動する前にボタンを放さないでください。



- 3 回連続でクランキングした後はスターターボタンを 5 秒以上押さず、バッテリーが回復するまで 15 ～ 20 秒待ちます。

ギアシフト、運転、停止

ギアシフトを試みる前にクラッチレバーを完全に握る必要があります。クラッチレバーを完全に握らないとトランスミッション部品が損傷するだけでなく、エンジンが始動しにくくなったり、エンジンストールしたりします。

■ 車両がニュートラル位置にあるときに、ギアシフトレバーをつま先で押し下げて 1 速ギアを入れます。
ギアシフトパターン
1 — N — 2 — 3 — 4 — 5 — 6

■ 市街地の交通状況（エンジン回転数がアイドリングに近い）のみで運転する場合、1 速ギアで半クラッチ状態を使用することをお勧めします。他のギアおよびより高いエンジン回転数では、クラッチの寿命が比例して短くなるため半クラッチの使用は避けてください。加速 / 減速中はクラッチを完全に切りギアをシフトして、徐々に（ゆっくりではなく）接続します。

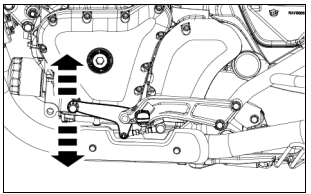
推奨シフトアップ速度		
ギアチェンジ	km/h	mph
1^{st} – 2^{nd}	25	16
2^{nd} – 3^{rd}	35	22
3^{rd} – 4^{th}	45	28
4^{th} – 5^{th}	60	37
5^{th} – 6^{th}	75	47

推奨シフトダウン速度		
ギアチェンジ	km/h	mph
6^{th} – 5^{th}	70	43
5^{th} – 4^{th}	55	34
4^{th} – 3^{rd}	40	25
3^{rd} – 2^{nd}	30	19
2^{nd} – 1^{st}	20	12

ギアシフト、運転、停止

注意

■ クラッチレバーを急に離しスロットルの開きが不十分だと、車両は始動が悪くなりエンジンが停止してしまいます。



■ エンジンが高回転でクラッチレバーが急に離されると、車両が突然動き出し、制御不能に陥って事故につながり、車両の損傷だけでなく、ライダー、他の道路利用者、歩行中の人が負傷したり死亡したりする恐れがあります。
■ クラッチを繋ぐときは常に細心の注意を払ってください。
■ 車両が 1 速ギアで時速 25 km（16 mph）の速度に達したら、すぐに 2 速にシフトします。
■ 車両速度が上がるにつれて、つま先でギアシフトレバーを押し上げて 2 速以降のギアにシフトします。

備考

必ずギアをニュートラルの状態で車両を始動してください。

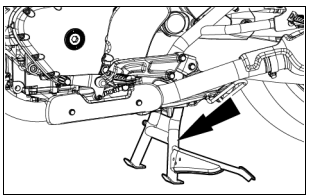
エンジン回転数が低下したとき、または登坂中や低速で走行しているときはエンジンが停止したりしないように適切な低いギアにシフトしてください。

■ 減速して車両を停止するときは常に適切なギアにシフトしてください。
■ 車両を完全に停止させる直前にギアをニュートラル位置にシフトしてください。
■ スロットルを完全に閉じクラッチレバーをゆっくりと離してギアがニュートラル位置にあり、ニュートラルランプが点灯していることを確認します。
■ 車両を安全な場所に停車し、イグニッションをOFFにして、エンジンキルスイッチを OFF にします。

駐車

センタースタンドで車両を駐車する

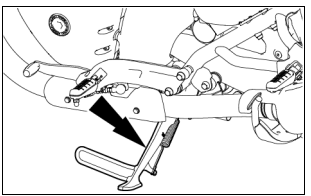
- 車両はしっかりとした平坦な場所に直立させて駐車してください。
- ハンドルバーをまっすぐな位置にします。
- センタースタンドを下げて、スタンドの両脚がしっかりとした地面に接するようにします。



- センタースタンドの支点レバーに力を加えて車両を後方に引きます。
- キーをイグニッションバレルから抜く前にステアリングをロックし、ハンドルバーがしっかりとロックされていることを確認してください。

サイドスタンドで車両を駐車する

- 車両はしっかりとした平坦な場所に直立させて駐車してください。
- サイドスタンドを立てます。車両を地面にしっかりと接地されるまで左側に傾けます。



駐車

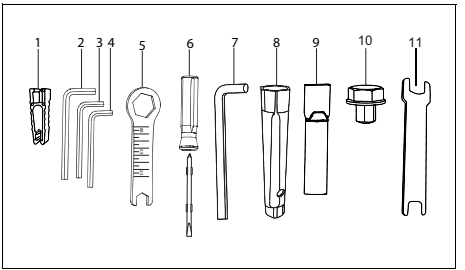
警告

- 乗車前に、両方のスタンドが完全に収納されていることを確認してください。
- 車両が倒れて自分や他人が怪我をしたり車両の部品が損傷したりしないように、駐車時には細心の注意を払い、しっかりとした平坦な場所に駐車してください。
- サイドスタンドは車両の重量のみを支えるように設計されています。サイドスタンドを立てているときは車両に座らないでください。サイドスタンドやフレームが損傷し、車両が倒れる恐れがあります。

ツールキット

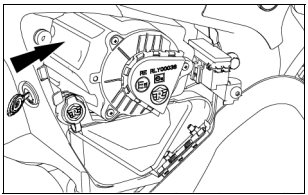
ツールキットは車両の左サイドパネルの下にあります。

シリアル番号	説明	数量
1	ヒューズ プーラー	1
2	六角レンチ 6 mm	1
3	六角レンチ 5 mm	1
4	六角レンチ 4 mm	1
5	リングスパナ 24*14 コンビネーション	1
6	ドライバー（両端）	1
7	トミーバー	1
8	スパークプラグスパナ	1
9	エクステンションチューブ	1
10	フロントスピンドルアダプター	1
11	オープンエンドスパナ 12*16	2



オーナーズマニュアルの保管場所

■ オーナーズマニュアルは左サイドパネル内に保管してください。



注意

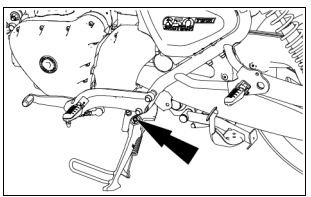
■ 自動車検査証などの書類 / アイテムを左サイドパネルに保管しないでください。エンジンの空気取り入れ口が塞がれ、車両のパフォーマンスに問題が生じる可能性があります。

メンテナンスのヒント

以下の簡単なメンテナンス作業は車両のメンテナンスに役立ちます。ただし、複雑なメンテナンスが必要な場合はRoyal Enfield認定サービスディーラーに問い合わせることをお勧めします。

ハンドレバー、センタースタンドピボット、サイドスタンドピボット

- ピボットポイントを清掃し、汚れ、ほこり、錆などがないことを確認します。
- ピボットに潤滑油を差します。

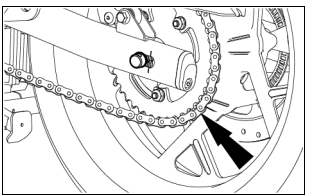


備考

汚れが蓄積しないように、余分な潤滑剤を拭き取ってください。

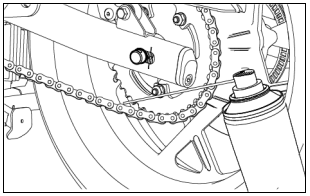
ドライブチェーン

- 後輪を回転させながらドライブチェーンに推奨チェーン洗浄溶剤をスプレーします。



- ドライブチェーンが洗浄溶剤で十分に完全に覆われていることを確認します。必要に応じて適切なブラシを使用してチェーンから固い堆積物を取り除きます。

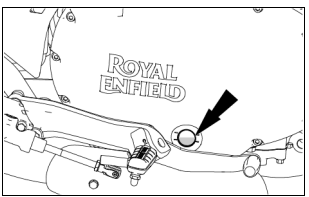
メンテナンスのヒント



- 数分間待ってからチェーンの汚れなどを徹底的に除去します。
- 後輪をゆっくり回転させながら、同時にチェーンリンクに推奨チェーン潤滑剤を塗布します。
- 数分後、余分なチェーン潤滑剤をきれいな布で拭き取ってください。

エンジンオイルレベルチェック

- 車両が地面に対して真っ直ぐな位置にあることを確認してください。
- エンジンを始動し、約半分のスロットルまでゆっくりと10秒間上げます。
- 15 秒間アイドリングします。
- エンジンを切り、オイルが落ち着くまで 10 分間待ちます。
- エンジンオイルのレベルは「MAX」状態に近くなるはずです。

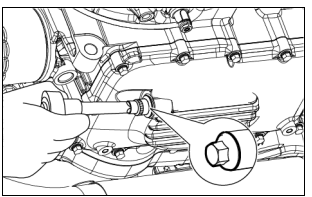


- オイルレベルが上記の状態にない場合は、オイルを「MAX」状態まで補充し手順を繰り返します。
- クラッチ機能に影響を与える可能性があるため「MAX」マークを超えてオイルを入れすぎないでください。

メンテナンスのヒント

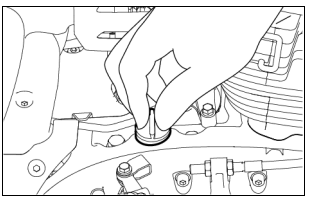
エンジンオイルドレン

- 車両が地面に対して真っ直ぐな位置にあることを確認してください。
- エンジンオイルはエンジンが十分に温まったときに必ず排出してください。そうすることで、オイルがより早く排出されます。
- オイルドレンボルトを外し、エンジンオイルが完全に排出されるまで最低 5 分間待ちます。
- 排出されるエンジンオイルの量は約 2.1 L ～ 3.8 L になります（ オイルの排出量は走行距離によって異なります）。



オイル交換のオイル充填

- 車両が地面に対して真っ直ぐな位置にあることを確認してください。
- クランクケース内のオイルフィルター接合面を清掃し、新しいオイルフィルターを新しいゴム製ガスケットと一緒に組み付けます。
- オイルパンとドレンボルト内のオイル排出穴接合面を清掃します。
- 新しいワッシャーを使用します。指定されたロックタイトを使用してドレンボルトを組み付けます。



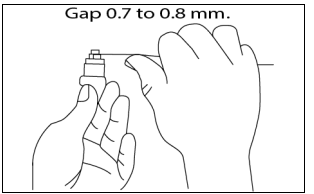
- オイルフィラープラグを外しクランクケースとフィラープラグ内のオイルフィラーキャップ接合面を清掃します。

メンテナンスのヒント

- 指定された量のフレッシュエンジンオイル 3.1 L を補充します。
- 新しいオイルフィラープラグ O-RING を使用し、オイルフィラープラグをクランクケースに取り付けます。

スパークプラグの清掃とプラグキャップの調整

- スパークプラグキャップをスパークプラグから外します。
- スパークプラグスパナをスパークプラグに取り付け、スパークプラグを緩めてシリンダーヘッドから取り外します。
- スパークプラグにカーボン堆積物がないか、中心電極に不均一な摩耗がないか確認します。
- プラグの絶縁体先端と電極を慎重に清掃します。
- 電極ギャップを 0.7 ～ 0.8 mm の間で確認して設定します。
- スパークプラグは必ず推奨仕様に従って交換してください。
- スパークプラグの取り付け部に「アンチシーズ」を薄く塗布し、手で締めてスパークプラグを固定します。

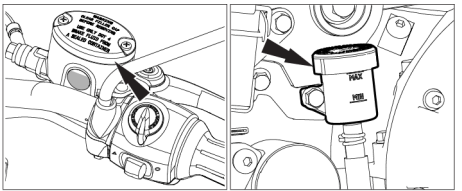


- ツールキットに付属のスパークプラグスパナを使用して、スパークプラグを 10 ～ 15 Nm のトルクで締めます。

ブレーキフルードの点検

フロント：ブレーキフルードリザーバーが水平になっていること、および液面が最低レベルとしてウィンドウの中央にあることを確認します。

リア ： ブレーキフルードリザーバーが水平になっており、液面が「MAX」と「MIN」レベルマークの間にあることを確認します。



車両をしっかりとした水平な地面に直立した状態にします。

注意

- ブレーキフルードは腐食性が高く、塗装された部品を損傷する可能性があります。ブレーキフルードが車両のどの部分にもこぼれないように注意してください。こぼれた場合は損傷を防ぐために、すぐに柔らかい布（できれば濡れた布）で拭いてください。
- DOT 4 と他のブレーキフルードを混ぜないでください。

備考

- 取り外す前にフィラーキャップを清掃してください。密閉容器に入ったDOT 4ブレーキフルードのみを使用してください。
- 指定されたブレーキフルードのみを使用してください。そうしないとゴムシールが劣化して漏れが発生する可能性があります。
- 同じ種類のブレーキフルードを補充してください。DOT 4 以外のブレーキフルードを補充すると有害な化学反応が起こる可能性があります。
- 補充時にブレーキフルードリザーバーに水やほこりが入らないように注意してください。水はフルードの沸点を大幅に下げてベーパーロックを引き起こす可能性があり、汚れは ABS 油圧ユニットのバルブを詰まらせる可能性があります。

メンテナンスのヒント

警告

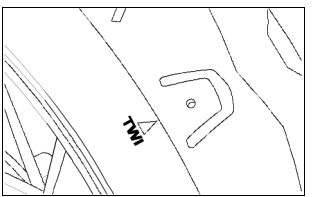
- ブレーキフルードレベルが不十分だとブレーキシステムが故障します。
- ブレーキフルードが古くなるとブレーキ効果が低下します。
- 定期メンテナンススケジュールに従って、フロントブレーキとリアブレーキのブレーキフルードが交換されていることを確認してください。
- ブレーキフルードは子供の手の届かないところに保管してください。
- ブレーキフルードが皮膚、目、衣服に触れないようにしてください。
- ブレーキフルードは腐食性が高く、塗装された部品を損傷する可能性があります。ブレーキフルードが車両のどの部分にもこぼれないように注意してください。こぼれた場合は損傷を防ぐために、すぐに柔らかい布（できれば濡れた布）で拭いてください。

タイヤとホイールの点検

- 定期的にタイヤのトレッドの摩耗、ひび割れ、切れを点検してください。

最小トレッドの深さ:	
フロントタイヤ: 1 mm	リアタイヤ: 2 mm

- タイヤのトレッドに挟まったり刺さったりした石、破片、釘、その他の異物を確認して取り除きます。



メンテナンスのヒント

- 定期的にアルミホイールリムの振れを点検してください。
- タイヤを再度組み込むときは必ずタイヤのビードがリムに正しく取り付けられているかどうかを確認しください。
- 推奨タイヤのみを使用し、適切な空気圧に調整してください。

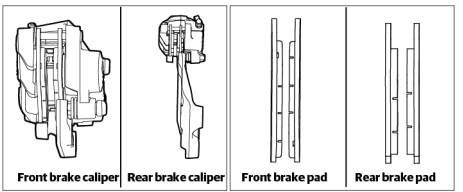
タイヤ空気圧	フロント	リア
一人乗車	32 psi/2.24 kg/cm^2	36 psi/2.53 kg/cm^2
二人乗車	32 psi/2.24 kg/cm^2	42 psi/2.95 kg/cm^2

警告

- タイヤの空気圧が低いとタイヤが過熱し、タイヤが損傷してライダーが負傷する可能性があるため、適切なタイヤ空気圧で車両を運転することをお勧めします。
- 新しいタイヤに交換する場合は、Royal Enfield タイヤ仕様を使用することをお勧めします。これを遵守しないとタイヤが損傷し、ライダーが負傷する可能性があります。

ブレーキパッド

- 定期メンテナンス表に指定された間隔でフロントおよびリアのブレーキパッドの摩耗を点検する必要があります。



メンテナンスのヒント

フロント / リア： ブレーキパッドがインジケーターまで摩耗している場合はパッドを交換する必要があります。

備考

- ディスクブレーキを装備したRoyal Enfieldの車両は最適なブレーキシステムを備えており、あらゆる状況下で優れた安全なブレーキ性能を発揮するように作られています。
- ディスクブレーキシステムは、特定の走行条件下では軽いノイズを発生することがあります。これは車両のディスクブレーキパッドに見られる正常な特性です。車両やブレーキ システムの性能には影響しません。
- Royal Enfieldでは、堅牢かつ厳格なテストおよび開発プロトコルを採用し、品質と耐久性の世界的な検証基準に準拠しています。当社はお客様に当社の車両で最高のオーナーシップを提供することに全力を尽くしています。

ブレーキの慣らし手順

- 最適な摩耗と異常なブレーキノイズの防止のために、新しいブレーキパッドとディスクを馴染ませる必要があります。パッドを馴染ませるには高速道路での巡航ではなく市街地での走行が理想的で、200 マイルまたは 300 km の走行が必要です。このプロセス中はブレーキを頻繁に使用する必要があります。最初の数回の停止ではブレーキを軽くかけ、馴染ませるプロセス中は徐々にブレーキカを上げていきます。ブレーキをかける合間にブレーキが冷めるのを待ちます。

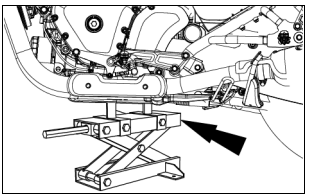
備考

- 慣らし運転の手順よりも道路状況に応じてのブレーキ適切使用を優先してください。

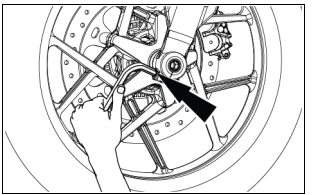
メンテナンスのヒント

フロントホイールの取り外し

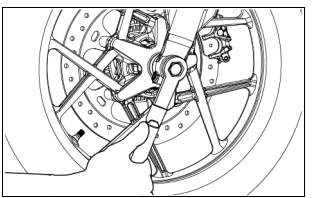
- 車両がしっかりとした平坦な地面に直立していることを確認してください。
- エンジンの下にシザージャッキを置き、フロントホイールが地面から最低 15cm 離れるように車両を持ち上げます。



- ツールキットに含まれている 6 mm六角レンチを使用してLHS フロントフォークアセンブリーからフォーククランプ ボルトを緩めて取り外します。

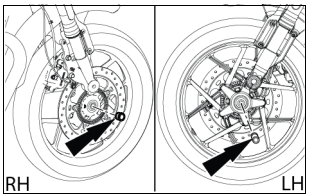


- ツールキットに含まれているフロントスピンドルアダプター、リングスパナ、エクステンションチューブを使用してLHSフロントフォークアセンブリーからスピンドルボルトを緩めて取り外します。



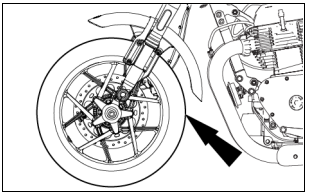
メンテナンスのヒント

- 完全に緩めたらスピンドルをLHSから手でゆっくりと引き出します。
- ホイールをゆっくりと下げてフォークの脚から外します。
- LHS と RHS の両方のフロントホイールハブからスペーサーを取り外します。



注意

フォークから車軸を取り外す際は、ホイールスペーサーとスピードセンサーを固定するように注意してください。



注意

フロントホイールを取り外した状態でブレーキレバーを握らないでください。ブレーキパッドがブレーキキャリパーから外れてしまいます。

- フロントブレーキレバーを誤って握られた場合にパッドが作動しないように、ブレーキパッドの間に厚さ 4 mm の木片または段ボールシートを挟みます。

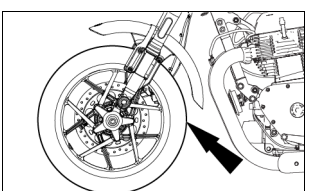
メンテナンスのヒント

■ ブレーキシステムや ABS に影響を与えるため、フロントブレーキディスクやトナーリングを損傷しないように注意してください。

フロントホイールの取り付け

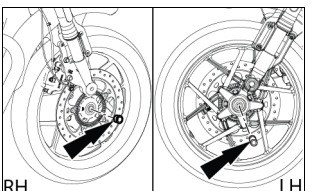
■ ブレーキパッドの間に挟んだ木片/段ボールシートを取り外します。

■ 左側と右側の両方のホイールハブにスペーサーを配置します。

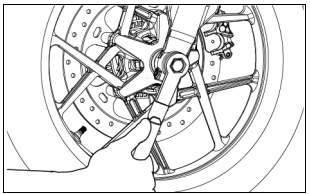


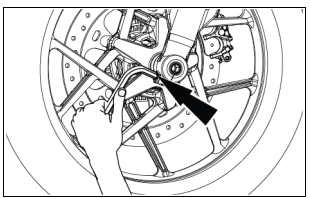
■ ホイールをスペーサーと一緒にフォークの端の間に挿入します。ブレーキディスクがブレーキパッドの間にあることを確認します。

■ スピンドルがフォークの脚とホイールに通る高さでホイールを支えます。左側からスピンドルを挿入しスピンドルのねじ山が右側のフォークの脚のねじ山とかみ合うまで押し込み、スピンドルが完全に固定されるまでねじ込みます。



■ 左側のスピンドルボルトを 65Nm のトルクでしっかりと締めます。





- フォーククランプボルトをLH側で23Nmのトルクでしっかりと締めます。
- ホイールを回転させてスムーズに回転するか確認します。
- ブレーキレバーを握りフロントブレーキの効きを確認します。

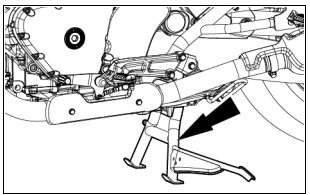
注意

- 車両のフロントホイールを組み立てる際は細心の注意を払ってください。
- 乗車前にホイールが正しく取り付けられていることを確認してください。
- これを怠ると車両が正常に機能しなくなり、事故が発生してご自身や他の道路利用者が負傷したり、命を失う可能性があります。

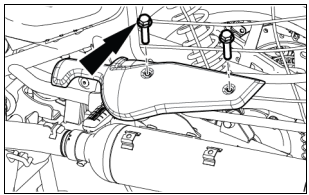
メンテナンスのヒント

リアホイールの取り外し

■ 車両がしっかりとした平坦な地面に直立していることを確認してください。
■ センタースタンドを立てます。



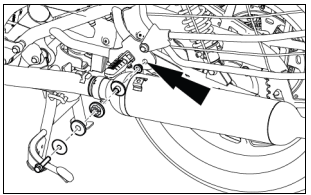
■ 10 mm のスパナを使用して、サイレンサーガードボルト（2 本）を緩めて取り外します。



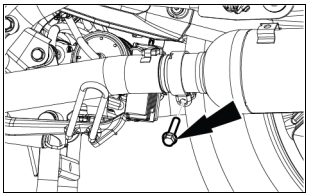
注意

車両を停止した直後は、排気管やサイレンサーの操作は行わないでください。非常に高温になっている場合があり重傷を負う可能性があります。サイレンサーが完全に冷めるまで必ずお待ちください。

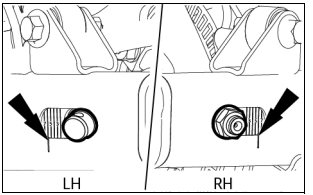
■ 12 mmソケットとスパナを使用してサイレンサーの上端からボルト、ナット、ワッシャーを取り外します。



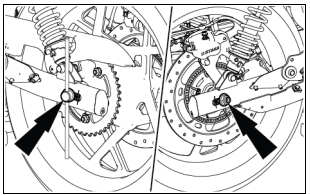
- 12 mm ソケットとスパナを使用して、マフラーからサイレンサードームクランプボルトとナットを取り外します。



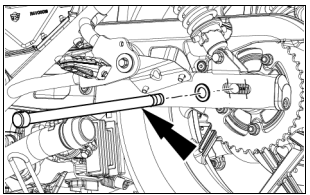
- 左右のスイングアームのチェーンアジャスターの両方にあるアライメントインデックスを確認してマークします。



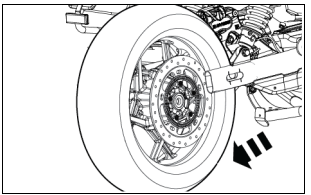
- 左右のチェーンアジャスターのロックナットとアジャスターナットを完全に緩めます。
- 左側のホイールスピンドルをしっかりと持ち、右側の六角ナットを緩めます。次にホイールスピンドルからナットとワッシャーを取り外します。
- リアホイールをスイングアームに完全に押し込みます。



■ リアホイールを下から支え、左側スイングアームからホイールスピンドルを引き出します。



■ ブレーキホースをゆっくりと外し、右側のスイングアームからキャリパーアセンブリーを取り外します。



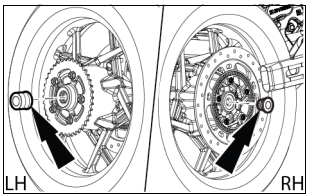
注意

取り外す際にブレーキ ホースが損傷したりよじれたりしないように注意してください。キャリパーアセンブリーをスイングアームから離して適切に支えてください。

■ リアホイールを取り外すときにチェーンをスプロケットから外し、チェーンが詰まったり損傷したりしないことを確認します。

メンテナンスのヒント

■ ホイールの底部からサポートを取り外し、リアスプロケット、ブレーキディスク、スペーサーとともにリアホイールをスイングアームからゆっくりと引き出します。



注意

リアホイールを取り外すときにリアブレーキペダルを踏まないでください。ブレーキパッドがブレーキキャリパーから外れてしまいます。

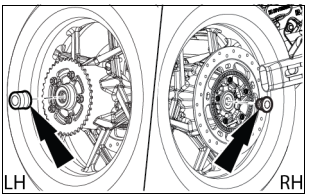
■ リアブレーキペダルが誤って踏まれた場合にブレーキパッドが作動しないようにブレーキパッドの間に厚さ 4 mm の木片または段ボールシートを挟みます。

注意

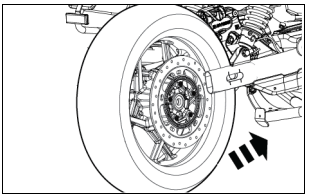
いかなる理由があっても車両を持ち上げたり起こしたりするためにリアブレーキペダルを操作しないでください。

リアホイールの取り付け

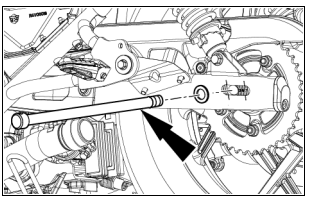
■ 段付きスペーサーがブレーキディスク側にあることを確認し、スペーサーのリップをベアリングシールに挿入する必要があります。



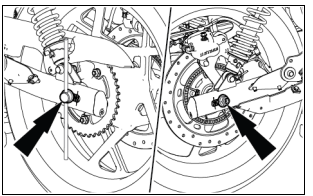
■ スペーサーがホイールハブのスプロケット側に沿って配置されていることを確認します。



■ チェーンアジャスターがスイングアーム左右の内側に正しく配置されていることを確認してください。

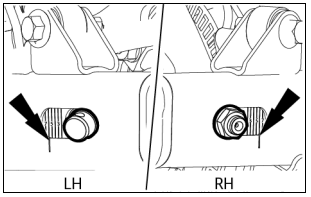


■ スイングアーム右側のタブにあるキャリパーアセンブリの位置を確認します。
■ ブレーキディスクが右側のブレーキパッドの間にあることを確認しながら、スプロケットが左側になるようにリアホイールを配置します。
■ リアホイールを持ち上げてスイングアームブレーキキャリパーブラケットのチェーンアジャスターの穴のスロットとハブの中心穴の位置が合っていることを確認します。



■ リアホイールを適切に支え、リアホイールスピンドルを左側スイングアームに沿ってホイールハブに挿入します。

メンテナンスのヒント



- 右側のねじ山が完全に見えるまでタブスピンドルをホイールハブスロットにゆっくりと差し込みます。
- ドライブチェーンをスプロケットに取り付け、正しく取り付けられていることを確認します。
- リアホイールがスムーズに回転するか確認してください。
- 右側のホイールスピンドルにワッシャーと六角ナットを取り付けます。

備考

六角ナットを完全に締めないでください。

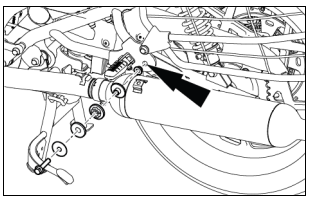
- スイングアームの両側のインデックスマークが正しく揃うように左右のアジャスターのチェーンアジャスターナットを締めます。
- チェーンの張りとホイールの位置合わせが正しいかを確認します。
- 左側のスピンドルをしっかりと持ち右側の六角ナットを締めてトルクを 70 Nm に設定します。
- スイングアーム右側にキャリパーアセンブリーを配置します。
- リアブレーキが適切に作動しているかを確認してください。

注意

車両のリアホイールを取り付ける際は、細心の注意を払ってください。
乗車前にホイールが正しく取り付けられていることを確認してください。
これを怠ると車両が正常に機能しなくなり、事故が発生してご自身や他の道路利用者が負傷したり、命を失う可能性があります。

メンテナンスのヒント

■ サイレンサーの上端にボルト、ナット、ワッシャーを再度取り付け、サイレンサーガードとドームクランプボルトを組み立てます。



クラッチケーブル遊び点検 /調 整

■ クラッチケーブルの遊びはクラッチの寿命に大きな役割を果たします。クラッチの寿命を延ばすために必要に応じて調整することをお勧めします。

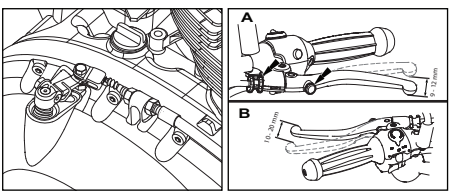
クラッチレバー遊び仕様

■ 遊びはクラッチレバーのボールエンドで測定し、ハンドルバーが左位置にあるときに 9 ～ 12 mm である必要があります（画像 A を参照）。まっすぐのときは 10 ～ 20 mm で確認する必要があります（画像 B を参照）。

■ 調整するには以下の手順に従ってください：

備考

測定の前にクラッチレバーを 3 回握ってください。



メンテナンスのヒント

微調整 – クラッチケーブルレバーエンド

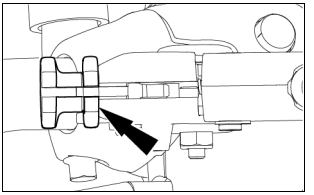
- 遊びの微調整はクラッチケーブルレバーの端で行うことができます。
- ケーブル外側のロック ナットを緩めます。
- 遊びを減らすにはナットを時計回りに回し、遊びを増やすには反時計回りに回します。
- 調整が完了したらロックナットをしっかりと締めます。
- 調整後、遊びを確認し、仕様を確認してください。

主な調整 – クラッチケーブルレバーエンド

- 遊びの調整はクラッチケーブル レバーの端で行います。
- ケーブル外側のロック ナットを緩めます。
- 遊びを減らすにはナットを時計回りに回し、遊びを増やすには反時計回りに回します。
- ツール キットに付属の 12 mm スパナを使用して 2 つのロック ナットをしっかりと締めます。調整完了後。
- 調整後、遊びを確認し、仕様を確認してください。

注意

- 記載の手順に従って遊び調整することに不安がある場合は、最寄りの認定サービスディーラーにご相談ください。
- 希望する遊びが得られない場合、またはクラッチの滑りが疑われる場合は遊びを確保し、最寄りの認定サービスディーラーにご連絡ください。

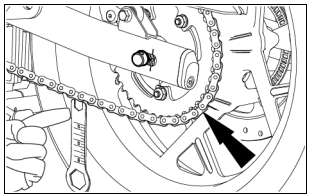


メンテナンスのヒント

- 調整ナットはネジ部分に適切に収まっている必要があります。はみ出しなし（画像参照）
- クラッチの遊びはエンジンが冷えているときにのみ確認および調整する必要があります。
- クラッチ遊び点検時はビークルコンディションのままクラッチケーブルに異常がないか点検します。
- 異常が疑われる場合は最寄りの認定サービスディーラーにご連絡ください。

ドライブチェーンテンション（遊び 20～ 30MM）

- 車両をしっかりとした平坦な場所にまっすぐに駐車します。
- ギアがニュートラルの位置にあることを確認します。
- 図のようにドライブ チェーンの遊びを測定します。ドライブチェーンの遊びは 20 ～ 30 mm です。
- ドライブチェーンの遊びが正しくない場合は､次のように調整します。



(a) リアホイールアクスルのアクスルナットを緩めます。
(b) ツールキットに付属の 6 mm 六角レンチを使用して、スイングアームの LH および RH チェーンアジャスターを締めます。
(c) 遊びを減らすには、アジャスターのアジャスターボルトを均等に締めます。
(d) 遊びを増やすには、アジャスターボルトを均等に緩め、リアホイールを前方に押します。
(e) チェーンテンションが適切かどうかを確認します。
(f) アジャスターとスイングアームのインデックスマークがスイングアームの左右で同じであることを確認します。

メンテナンスのヒント

(g) スピンドルを左側にしっかりと固定し、後部の六角ナットを 70 Nm のトルクで締めます。
(h) ツールキットに付属の 6 mm 六角レンチを使用して、スイングアームの LH および RH チェーンアジャスターを締めます。

警告

チェーンのたるみが 30 mm を超えると、チェーンの滑りにつながり、チェーンとスプロケットの摩耗率が増加する可能性があります。
チェーンを調整した後、後輪スピンドルナットを締める前に、両方の車輪が正しく位置合わせされていることを確認してください。

バッテリーとメンテナンス

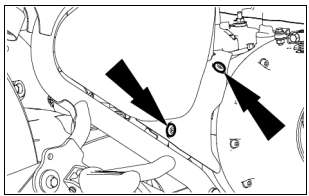
- 車両には12V-12AhのVRLAバッテリーが搭載されています。
- バッテリーは定期的に清掃や端子の腐食の有無を点検する必要があります。

備考

バッテリー端子の接触不良や緩い取り付けにより、ECU が故障する可能性があります。

取り外し

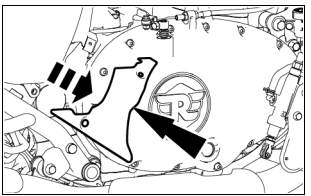
- エンジンを「OFF」にして、イグニッションキーをキーバレルから抜きます。
- バッテリーは右サイドパネルの内側にあります。



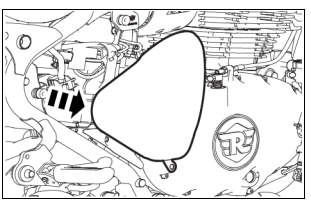
- ツールキットに含まれている 5 mm 六角レンチを使用して、RHS リザーバーパネルからボタンヘッドネジ 2 本を緩めて取り外します。

メンテナンスのヒント

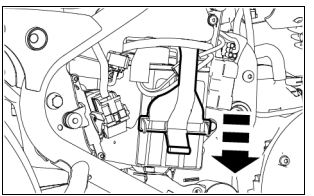
■ 右サイドパネルからリザーバーパネルを取り外します。



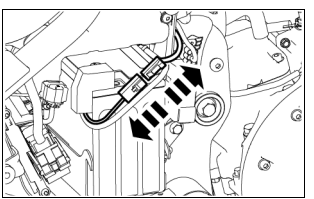
■ サイドパネルを外側に引いて開きます。



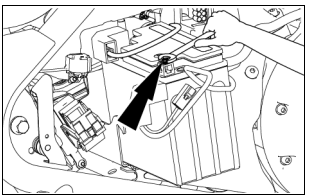
■ バッテリーストラップ（ベルト）を下方に引き、バッテリーストラップブラケットからストラップロックを外します。



■ 黒色のマイナスカプラーを外します。



■ 10 ㎜のスパナを使用してバッテリーの黒色のマイナス端子ボルトを外します。

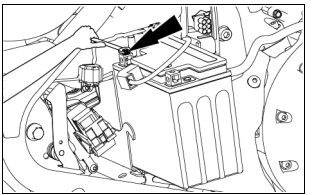


警告

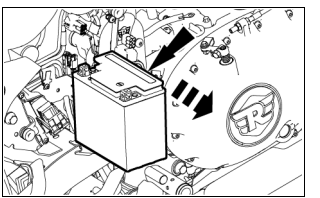
バッテリー接続を取り外すときは、必ず最初に黒色のマイナスケーブルを外し、次に赤色のプラスケーブルを外してください。

■ バッテリーの外側に少しスライドさせてプラス端子ボルトを取り外します。

■ 10 ㎜ スパナを使用してバッテリーの赤いプラス端子ボルトを外します。



■ トレイからバッテリーを取り外します。



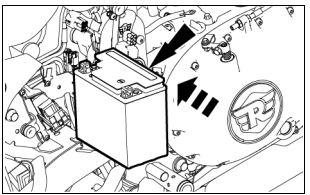
メンテナンスのヒント

備考

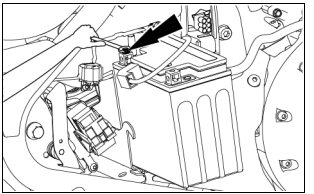
バッテリーを良好な状態に保つためには、車両の使用頻度が非常に重要です。車両の使用頻度が非常に少なく、端子が外されていない場合、バッテリーの充電が失われ、バッテリーが上がってしまいます。
バッテリー電圧を確認するには Royal Enfield 認定サービスディーラーにお問い合わせください。

取り付け

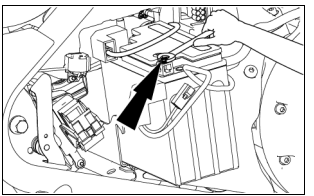
■ バッテリーをトレイに取り付けます。



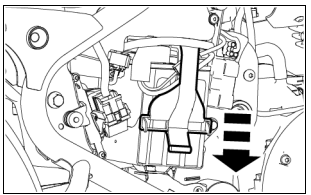
■ バッテリーの赤いプラス端子ボルトを接続します。



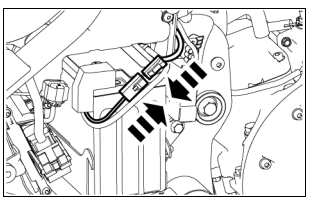
■ 黒色のバッテリーのマイナス端子ボルトを接続します。



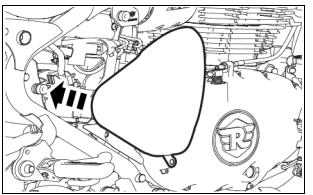
- バッテリーストラップ（ベルト）を下方に引いて、ストラップロックをバッテリーストラップ ブラケットに固定します。



- マイナスの黒色カプラーを接続します。



- サイドパネルをフレームに配置します。
- 右サイドパネルにリザーバーパネルを配置します。
- RHS リザーバーパネルのボタンヘッドネジ 2　　本を締めます。

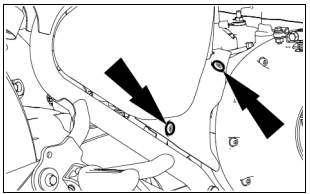


注意

赤のプラス端子を接続した後、黒のマイナス端子を接続します。

備考

ワイヤー端子を腐食しないように清掃し、端子をワセリンでコーティングした状態にしておきます。



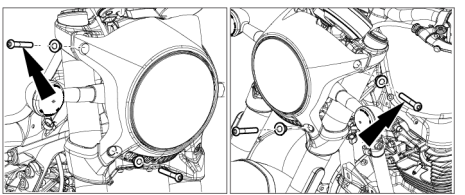
注意

赤色 のプラス端子と黒色のマイナス端子ケーブルをそれぞれのバッテリー端子にしっかりと接続してください。接続を怠ると、車両の電気系統が損傷する可能性があります。

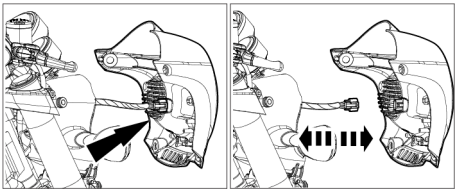
電装品の交換

ヘッドランプの取り外し

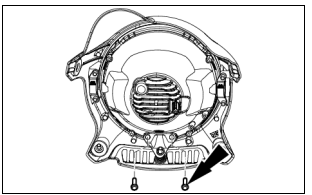
- 4 mm 六角レンチを使用してヘッドランプカウル上部の長いボタン ヘッド ボルト 2 本を取り外します。次に 4 mm 六角レンチを使用してヘッドランプ カウル下部の短いボルト 2 個を取り外します。



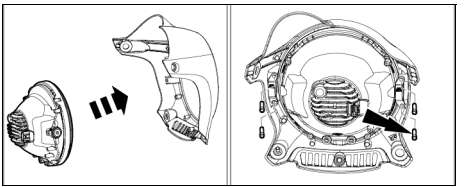
- ヘッドランプ　リムをリフレクターアセンブリとともにゆっくりと引き出します。
- ヘッドランプ カプラーを外します。



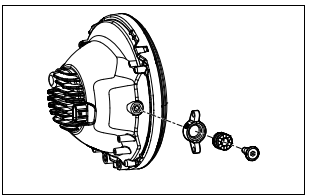
■ 8 mm ソケットキットを使用してヘッドランプアジャスター ブラケットボルト 2 本をヘッドランプ カウルからゆっくり緩めて取り外します。



■ 4 mm 六角レンチを使用して LH および RH サイドマウント六角ネジ 4 本を緩めて取り外します。



■ 5 mm 六角レンチを使用して両側のサイドマウントクランプを緩めて取り外します。



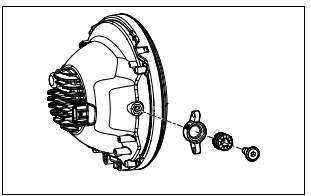
メンテナンスのヒント

備考

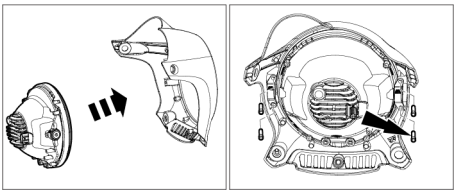
- ヘッドランプにはLED照明システムが搭載されています。故障した場合はヘッドランプLEDアセンブリーを交換する必要があります。
- 交換するにはRoyal Enfield認定サービスディーラーにお問い合わせください。

ヘッドランプの取り付け

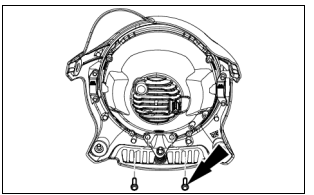
- 両側のサイドマウントクランプを締めてヘッドランプに取り付けます。



- LH および RH サイドマウント六角ネジを 4 本締めてヘッドランプカウルに取り付けます。

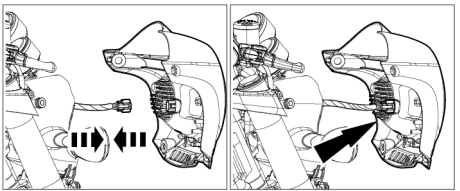


- ヘッドランプアジャスターブラケットボルトを締めてヘッドランプカウルに取り付けます。

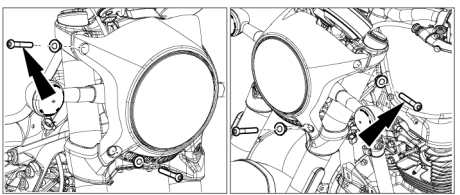


メンテナンスのヒント

- ヘッドランプカプラーを接続します。
- ヘッドランプリムをリフレクターアセンブリーと一緒に取り付けます。

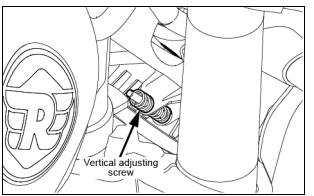


- ヘッドランプカウルの上部と下部のボタンボルト 4 本を締めて取り付けます。



ヘッドライトビーム調整

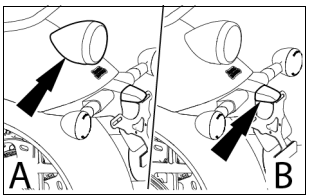
- 調整ネジを時計回りまたは反時計回りに回すことで、ヘッドライトのビーム焦点を垂直方向に調整できます。
- 調整ネジはヘッドライトのビームの高さを垂直方向にのみ調整するために使用されます。これは視認性を高め、他のライダーや車両が自車近くを通過するのを防ぐために必要になる場合があります。



メンテナンスのヒント

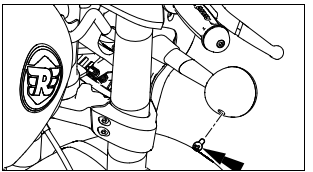
テールランプ&ナンバープレートイルミネーション

- テールランプ（A）とナンバープレートイルミネーション（B）にはLED照明システムが搭載されています。故障した場合はテールランプ（A）とナンバープレートイルミネーション（B）アセンブリー全体を交換する必要があります。
- 交換するにはRoyal Enfield認定サービスディーラーにお問い合わせください。

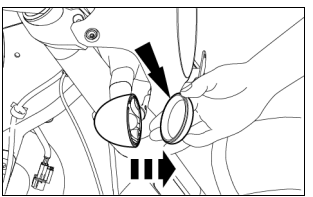


トラフィケーター電球の取り外し

- 星型ドライバーを使用して、トラフィケーターアセンブリーからネジを緩めて取り外します。

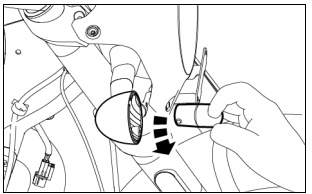


- トラフィケーターアセンブリーからレンズカバーを取り外します。



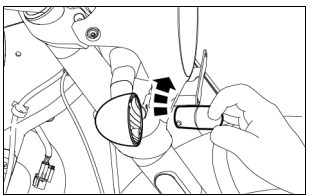
- 軽く押して反時計回りに回し、ホルダーから電球を取り外します。

メンテナンスのヒント

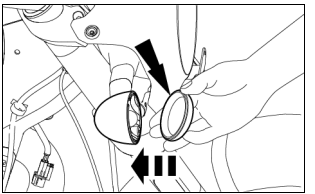


トラフィケーター電球の取り付け

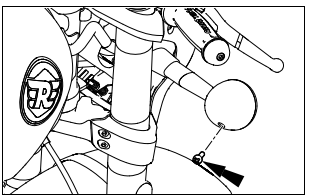
■ 軽く押して時計回りに回し、電球をホルダーに固定します。



■ レンズカバーをトラフィケーターアセンブリーに取り付けます。



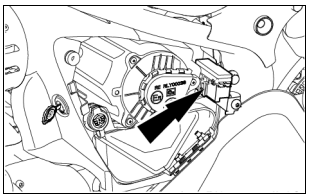
■ トラフィケーターアセンブリーにネジを締めます。

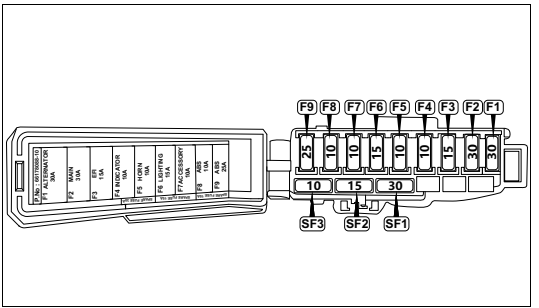


メンテナンスのヒント

ヒューズとヒューズキャリア

- ヒューズキャリアは左サイドパネルの内側にあります。
- イグニッションキーを挿入し、反時計回りに回します。
- サイドパネルを外側に引いて開きます。





メンテナンスのヒント

ミニブレードヒューズ使用リスト

ヒューズID番号	色	定格	備考
F1	GRE	30A	オルタネーター
F2	GRE	30A	メイン　ヒューズ
F3	BLU	15A	EFI
F4	RED	10A	ンジケーター
F5	RED	10A	ホーン ヒューズ
F6	BLU	15A	照明システ
F7	RED	10A	アクセサリー
F8	RED	10A	ABS ヒューズ-1
F9	WHT	25A	ABS ヒューズ-2
スペアヒューズリスト			
SF1	GRE	30A	スペアヒューズ
SF2	BLU	15A	
SF3	RED	10A	

警告

ヒューズが飛んだら車両の電気系統を徹底的に点検し、すぐに故障箇所を修理してください。修理しないとヒューズが再び飛ぶ可能性があります。
指定定格以外のヒューズを使用したり、その他の導電性材料や低品質のヒューズを使用したりすると電気システム全体が損傷します。
できるだけ早くホルダー内のスペアヒューズを交換してください。
飛んだヒューズをジャンパー接続しようとするとショートや火災の危険が生じます。飛んだヒューズは必ず同じ定格の新しいヒューズと交換してください。

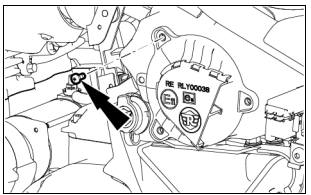
備考

電球、ヒューズ、電気部品を交換するときはイグニッションスイッチが「OFF」の位置になっていることを確認してください。

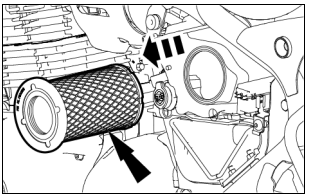
メンテナンスのヒント

エアフィルター

■ エアフィルターは左サイドパネルの内側にあります。



■ ツールキットに付属のドライバーを使用してエアフィルターカバーのネジを外します。
■ エアフィルターボックスからカバーを取り外します。
■ フィルターエレメントを引き出して、汚れがないか確認します。フィルターエレメントを丁寧に清掃します。



■ エアフィルターボックス内にほこりや油分がないか確認し、丁寧に清掃します。

備考

エアフィルターエレメントの清掃には高圧圧縮空気の使用は推奨しません。エアフィルターエレメントの取り付けは、取り外し手順の逆の手順で行います。

長距離旅行の注意事項

長距離運転前のチェック

- Royal Enfield認定サービスディーラーで車両のメンテナンスを行ってください。
- 計画された旅程に十分な量の燃料が常に燃料タンク内にあることを確認してください。
- 必要に応じてタイヤの空気圧を点検し、調整してください。

長距離走行の前にこれらすべての点を確認してください

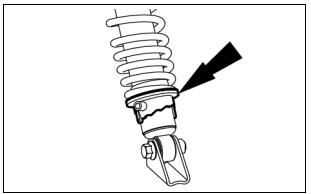
- 緩んだボルト、ナット、ネジ
- タイヤのコンディション
- エンジンのオイル レベルを適正にします。
- すべての灯火類とホーンの作動
- ドライブチェーンの張り具合
- クラッチケーブルの遊び

携行品

- ツールキット
- トラフィケーターライトとヒューズ
- アクセルとクラッチケーブル
- スパークプラグ、スパークプラグキャップ、燃料ホース

リアサスペンションの設定

- 車両をセンタースタンドで立てます。
- タイヤの空気圧が推奨値になっていることを確認してください。
- 調整する前にアジャスターに汚れやゴミがないことを確認してください。汚れやゴミがある場合は調整する前に適切に清掃してください。

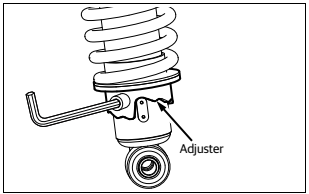


- アジャスターは5段階調整で、最初の位置に保持されます。
- ショックのプリロードを調整するには六角レンチを使用してアジャスターを時計回りに回してプリロードを増やします。
- ショックのプリロードを調整するには六角レンチを使用して反時計回りに回してプリロードを減らします（ 最初の位置にします）。
- 両側で同じ調整を行います。不均一な調整はライダーに不快感を与える可能性があります。

備考

- サスペンションの調整には六角レンチが必要です。車両ツールキットに付属の六角レンチを使用することをお勧めします。エクステンションチューブは、てこ作用で使用します。
- 最適なスプリングプリロード設定はライダーの体重、荷物の重量、および同乗者の体重に合わせて設定することで実現します。

リアサスペンションの設定



- プリロードを増やし、最大負荷（GVW 状態）の最終ノッチに保つことをお勧めします。これにより、ハンドリングと安定性の理想的な妥協点が確保されます。
- この作業のために 5 mm 六角レンチ以外の追加の工具を使用しないでください。

コンディション	最大参照積載量	サスペンション セッティング ノッチ	タイヤ空気圧（psi）	
			フロント	リア
荷物なし / 1 人乗り / ライダーのみ	体重 90kg までのライダー	1st	32	36
積載 / 2 人乗り / ライダー + パッセンジャー / ライダー & パッセンジャー + アクセサリー	最大積載量 180kg（ライダー、パッセンジャー、アクセサリーを含む）	5th	32	42

* 左側と右側のリアサスペンションのプリロードが均等に設定されていることを確認します。

洗車手順

使用上の注意

- イグニッションキーを抜き、粘着テープを使用してイグニッション キーバレルスロットを塞ぎます。
- 車両の洗車を始める前に右サイドパネルの内側に工具キットや自動車検査証などの関連書類がある場合は取り外してください。
- サイレンサーのテールパイプ、ホーン、コントロールスイッチを適切なビニール袋で覆い、しっかりと縛って水が入らないようにしてください。
- 車両の洗車はエンジンが冷えた状態のときにのみ行ってください。
- 水の浸入を防ぐため、洗車中はサイドパネルを取り外さないでください。
- 推奨される非腐食性溶剤を使用してエンジン部分をブラシで磨き、汚れやグリースを除去します。
- 低圧水ジェットを使用して洗車します。
- ヘッドランプ、スピードメーター、トリッパー、フラッシャーライト、フロントおよびリアホイールハブ、電気接続部および配線、コントロールケーブル、スパークプラグ、バッテリー、ABS ECU、EMS ECU、サイドミラー、ステアリングステムなどに決して勢いよく水を吹きかけないでください。
- 高圧洗浄機やスチームジェットクリーナーは、ヘッドストックベアリングやステアリングステムベアリングのシール、ホイールベアリングのシール、ブレーキキャリパー、吸気口、排気口の近くでは使用しないでください。
- 塗装面やゴム部品に腐食性溶剤を塗布しないでください。
- 塗装部分にはぬるま湯と中性洗剤を使って汚れなどを落としてください。
- 車両表面の洗剤を真水で徹底的に洗い流します。
- ブリーザーホールからの水の浸入を防ぐため、インストゥルメントクラスターの下部に向けて直接水をかけないでください。
- 可能であれば圧縮空気を使用して、車両の目立たない部分や電気接続部などから水滴を吹き飛ばしてください。

洗車手順

- 車両が塩分を含んだ状況(冬季に路面凍結防止のために塩が使用されている場所)や海岸近くを走行した場合は、腐食や錆の蓄積を防ぐために、走行後に冷水で車両を洗車することをお勧めします。塩との化学反応により車両にダメージを与える可能性があるため、洗車に温水は使用しないでください。洗車後、車両が完全に乾いたら部品を腐食から保護するために、すべての金属部分とクロームメッキ部分に防錆スプレーをかけることをお勧めします。
- ブレーキディスクに防錆スプレーはかけないことをお勧めします。
- 電子部品の清掃や洗浄にはガソリン、ブレーキオイル、その他の可燃性液体を使用しないでください。
- モーターサイクルコンフィギュレーターを使用して選択した部品は、石鹸や化学薬品で洗浄しないでください。真水のみを使用してください。
- デカールの端、電気部品、カプラージョイント、サイレンサーテールパイプ、ステアリングコーンキットなど、ラジエーター潤滑ポイント、ブレーキペダル、ホイールベアリング、チェーン、ブレーキカム、スイングアームブッシュには直接ジェットをかけないでください。ジェットモードではなくスプレーモードでのみ洗浄してください。

洗後

- 清潔で柔らかく、糸くずの出ない吸収性のある布またはセーム革で拭いて、車両が完全に乾いていることを確認してください。
- すべての粘着テープを取り外します。
- コントロール ケーブル、フットレストのピボット、サイドスタンド、センタースタンド、ブレーキおよびギアシフターのリンク機構、ドライブチェーンなどに潤滑油を塗布します。
- 推奨されているワックスを使用して、塗装面およびメッキ面を磨きます。
- エンジンを始動し、アイドリングで数分間運転してエンジンを暖めます。
- 車両ゆっくり運転し、前後のブレーキを断続的にかけてブレーキパッドの水を乾燥させます。
- ツールキットや自動車検査証等の関連書類を右サイドパネル内に保管する前に、右サイドパネル内の水分を完全に除去してください。

保管上の注意

車両を 1 か月以上使用しない場合は、以下のことに注意してください。

- Royal Enfield認定サービスディーラーで車両のメンテナンスを受けてください。
- 燃料タンクと吸気システムから燃料を完全に排出します。
- スパークプラグを外し、スパークプラグ穴から約 5 ml のきれいなエンジンオイルを注ぎます。穴を閉じてエンジンを数回クランクし、スパークプラグを取り付けます。
- ドライブチェーンを徹底的に清掃し、Royal Enfield が推奨するチェーン潤滑剤を塗布します。
- 塗布後　5　分経過したら余分な潤滑剤を拭き取ってください。
- ヒューズボックスから充電回路ヒューズを取り外します。
- バッテリーは涼しく、乾燥した換気の良い場所に保管してください。
- 湿気の侵入を防ぐためにサイレンサーを適切な袋で覆います。車両をセンタースタンドで立てます。
- すべてのメッキ部品に防錆液を塗布します。この溶液をクロム、ゴム、塗装部品に塗布しないように注意してください。車両は湿気やほこりのない清潔な屋根付きの場所に保管してください。
- 保管後に再利用する場合は、車両を最高の動作状態に復元できるようにRoyal Enfield認定サービスディーラーで車両の準備をしてもらうことをお勧めします。
- 車両を1か月以上使用しない場合はバッテリー端子を外してバッテリーを取り外すことをお勧めします。車両にバッテリーを再度取り付ける前に、バッテリー電圧が正常値範囲内であることを確認してください。そうでない場合は認定サービスディーラーで充電してください。

トラブルシューティング

車両が機能しない場合に備えて、いくつかの基本的なチェックを以下に示します。これらのチェックを行っても問題が解決しない場合は問題箇所を修理し、トラブルのないパフォーマンスを確保するためにRoyal Enfield認定サービスディーラーで車両を点検する必要があります。

症状	観察	確認 / 対処
エンジンが始動しない	イグニッション / エンジンキルスイッチがOFFの位置にある	イグニッションをONにする
	燃料タンク内の燃料レベルが不十分	燃料を給油する
	ライトが暗い / クラクションの音が弱い	バッテリーが弱っているか放電している / 充電回路に問題がある 認定サービスディーラーにお問い合わせください
	ヒューズが飛んだ	1. 同じ定格のヒューズを交換する 2. 問題が解決しない場合は認定サービスディーラーにお問い合わせください。
	スパークプラグ、キャップ、ハイテンションケーブルの接続の問題	スパークプラグ、キャップ、ハイテンションケーブルを再接続します。

トラブルシューティング

症状	観察	確認 / 対処
エンジンは始動するが、サイドスタンドが格納位置にあるため車両が動かない	クラスター内の警告灯が点灯している	サイドスタンドの位置を確認する
エンジンが失火し、動作が不安定になったり、停止したりする。	燃料に不純物や水分が混入している	認定サービスディーラーにお問い合わせください
	エンジンが熱くなりすぎる	エンジンのスイッチを切り、エンジンが冷えるのを待ちます
ピックアップ不良	エンジン回転数が車速に対して不釣り合いに上昇する	クラッチの遊びを調整し、認定サービスディーラーに連絡してください。
ABS（アンチロックブレーキシステム）	ABS ランプが点灯し続ける	認定サービスディーラーにお問い合わせください

環境配慮

環境を意識したライダーになりましょう

Royal Enfield に乗って美しい場所を走り抜けたことがあるでしょう。その場所をそのままの状態で維持したいと思いせんか？他の人も楽しめるように、その場所をそのまま維持するためのヒントをいくつかご紹介します。

使用済みとなった部品 /車 両の廃棄

エンジンオイル、クーラント、その他の洗浄溶剤などの液体廃棄物は定期的に交換する必要がありますが、それらはどうなるのでしょうか？土壌や水域に投棄しないように注意してください。

それらをコンテナに保管し、政府公認のリサイクル業者（ある場合）または Royal Enfield サービス センターに引き渡す必要があります。

バッテリー、タイヤ、プラスチック部品、電気または電子部品、オイルフィルターについては、認可されたリサイクル業者（ある場合）または Royal Enfield サービス センターにのみ引き渡されるものとします。

車両の洗浄に使用した洗浄溶剤またはスプレーは、環境に優しい方法で処分してください。

使用済み車両とみなされる車両を処分する場合は、お近くの公認 / 登録済みの車両スクラップ施設に車両を引き渡すか、自治体に連絡して適切な手順に従ってください。

定期メンテナンス

ここで詳述するメンテナンス スケジュールは、Shotgun 650 を細心の注意を払ってメンテナンスしトラブルのないサービスを受けるのに役立ちます。ここで提供されるスケジュールは平均的な走行条件に基づいており定期的な検査、調整、交換、および潤滑を行うべき km を示しています。メンテナンスの頻度は運転条件の厳しさや、車両が非常にほこりの多い環境で使用される場合に応じて短くする必要があります。専門家のアドバイスを受け、必要なメンテナンスを行うには最寄りの Royal Enfield 認定サービスディーラーにお問い合わせください。

シリアル番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方）										
	km（x 1000）	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	マイル（x 1,000）	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	か月	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
1	エンジンオイル（#）	R		R		R		R		R		R
		1000 km ごとに（または必要に応じてそれより早く）オイルレベルを確認し、必要に応じて補充してください。										
2	エンジンオイルフィルター（#）	R		R		R		R		R		R
3	吸排気バルブクリアランス（**）			I		I		I		I		I
4	スパークプラグ	I	I	I	I	R	I	I	I	R	I	I

定期メンテナンス

シリアル番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方）										
	km（x 1000）	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	マイル（x 1,000）	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	か月	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
5	HT リード	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
6	ゴムホース、エアフィルターからスロットルボディまで	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
7	ゴムホース、インレットマニホールド / アダプター	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
8	蒸発ガス排出装置用ゴムホース	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
9	エアフィルターエレメント	C	C	R	C	R	C	R	C	R	C	R
		ほこりの多い状態で運転する場合は、より頻繁に清掃 / 交換しください										
10	エアフィルターボックス下の通気管	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
11	スロットルケーブル	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
12	クラッチケーブル / レバーの遊び	1000 km ごとに調整（必要に応じて早めに）										

定期メンテナンス

シリアル番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方）										
	km（x 1000）	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	マイル（x 1,000）	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	か月	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
13	クラッチレバーとフロントブレーキレバーのピボット	1000 km ごとに（または必要に応じて早めに）注油してください。										
14	ブレーキパッド - フロントとリア	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
15	ブレーキフルード - フロントとリア	I	I	I	I	R	I	I	I	R	I	I
16	リアブレーキペダルとギアチェンジペダルのピボット	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L
17	ブレーキホースとバンジョーボルト - フロントとリア	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
18	ヘッドストックベアリング	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
19	リアホイールドライブチェーン	500 km ごとに（または必要に応じてそれより早く）、または濡れた / ほこりっぽい / 泥だらけの状態で走行した後は清掃、潤滑、調整を行ってください。										

定期メンテナンス

シリアル番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方）										
	km（x 1000）	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	マイル（x 1,000）	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	か月	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
20	リアホイールクッションゴム					I				I		
21	バッテリー端子（ワセリンを塗布）	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
22	アース線アイレットの締め付け			I		I		I		I	I	I
23	フロントとリアのタイヤの摩耗パターン	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
24	サイドスタンドとセンタースタンドのピボット	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L
25	ライダーとパッセンジャーのフットレストピボット	L	L	L	L	L	L	L	L	L	I	I
26	車両内のすべての取り付けファスナーをしっかりと締めつける	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

定期メンテナンス

A : 調整 C : 清掃 I : 点検（清掃、調整、必要に応じて注油または交換）L : 注油 R : 交換

(#) - 初回点検後、走行距離に関係なく 12 か月ごとにエンジンオイルとエンジンオイルフィルターの交換が必要です。

(**) - 初回点検後は走行距離に関係なく 12 か月ごとにバルブクリアランスの調整が必要です。

備考

50,000 km 走行後のメンテナンスについては Royal Enfield 認定サービスディーラーにご相談の上、上記と同じ頻度でメンテナンスを行ってください。

一般保証利用規約と条件

Royal Enfield モーターサイクル（車両）は、材料と製造に関して最高の品質慣行に従って製造されています。すべての 車両（登録国に関係なく）は、登録国に加えて、別の国にある Royal Enfield 正規ディーラー ワークショップ / サービス センターからの限定保証サービスを利用できます。お客様はボーダレス保証規定に記載されている利用規約を参照する必要があります。

重要：これらの利用規約を必ず読み、理解してください

この保証は、車両 の保証範囲の義務および除外のみを規定する条件を概説するものであり、Royal Enfield 正規ディーラーの側によるものではありません。この文書のいかなる内容も、Royal Enfield とその正規代理店またはそのスタッフとの間の原則的な代理店関係として解釈されるべきではありません。Royal Enfield は、以下の条件を条件として、通常の使用において自社の 車両 に製造上および材料上の欠陥がないことを保証します。

1. あらゆるオートバイの保証は、最初の所有者およびその後の所有者へのオートバイの販売日から 36 か月のいずれか早い方の満了日まで有効であり、上記の保証の満了までの残りの期間となります.
2. 2 番目以降の所有者が保証を受けるには 2 番目以降の所有者は最寄りの Royal Enfield サービスディーラーに車両の購入について通知し、Royal Enfield から要求されたフォームに必要な詳細事項を記入する必要があります。
3. 保証は RE 認定サービスディーラーのオーナーズマニュアルに記載されているスケジュールに従って、それぞれの期間 / 走行距離の範囲内ですべてのサービスを受けた場合にのみ適用されます。

一般保証利用規約と条件

4. 保証期間中、Royal Enfieldの保証義務は、検査により欠陥部品に製造上の欠陥があるとみなされた場合にのみ、欠陥部品を修理または新しい部品と交換することに限定されるものとします。交換された欠陥部品はRoyal Enfieldの所有物となります。

5. この保証は、製造上の欠陥のある純正部品の修理または交換に明示的に限定されており、保証の唯一の救済策です。

6. 適用法で許容される最大限の範囲で、明示的か黙示的かを問わず、あらゆる種類のその他すべての保証は否認されます。ここに記載されている黙示の保証の除外は、適用法で禁止されている範囲には適用されません。

7. 保証は以下の場合には適用されません:

   (a) 修理・交換時に使用するオイル、オイルフィルター、ブレーキ液、冷却液、燃料、グリースなどの消耗品は保証対象外となり、かかる消耗品はお客様のご負担となります。

   (b) お客様は製品またはその交換部品の修理から生じる、または製品またはその交換部品の取り付けから生じるすべてのリスクと責任を負います。保証期間中のいつでも、製品またはその一部が、当社の権限を持たない人物によって取り外し、変更、改ざん、調整、変更、解体、修理、または何らかの方法で取り扱われた場合、本ポリシーは適用されます。直ちに無効となり、最初から無効となり、一切効力を持ちません。

一般保証利用規約と条件

(c) メッキ部品、塗装、ゴム部品、軟質部品、ガラス部品、プラスチック部品などの通常の経年劣化または錆び。 オイルフィルター、エアフィルターペーパーエレメント、コントロールケーブル、ブレーキシュー/ブレーキパッド/ブレーキディスク、クラッチプレート、ドライブチェーン＆スプロケットキット、ステアリングボールレース、電気機器、配線ハーネスなど、通常の摩耗や損傷を受ける部品。推奨グレード以外の潤滑油、冷却液、ブレーキフルード、フォークオイル、燃料の使用、または不適切なレベルの使用により故障が発生した場合。

(d) 純正品以外の部品や付属品の使用、適切なメンテナンスの欠如、誤った乗り方による損傷。車両の性能に影響を与える改ざんによるエンジン管理システム部品（ECU、スロットルボディ、センサーなど）の損傷。事故、衝突、放置、乱用、誤った取り扱い、火災、天災などにより損傷した部品。

(e) わずかな振動、オイル漏れ、エキゾーストパイプの曲がりや触媒領域/サイレンサー/ソフトまたはハードショックアブソーバーの変色など、車両の品質や機能に影響を与えるとは認められない異常。

(f) エキゾーストパイプやサイレンサーの変色は使用中に自然に起こる現象です。

(g) サイドカー、トレーラーヒッチなどの認可されていない付属品や部品、または追加の電気負荷の取り付けに起因する欠陥または損傷。

(h) 認定されていないサービスディーラーで整備または修理された車両。

(i) 競技/レース/ステージラリー/スタント/ジャンプ/アクロバットなどの類似の活動に使用される車両。車両はそのような目的や使用のために設計または意図されていません。

(j) 電球、ヒューズなどの電気部品、およびアーク溶接修理による ECU を含む電子部品の故障。

(k) フレームの一部に改ざん / 穴あけ / 溶接の跡がある車両が見つかった場合。

(l) ブレーキの調整、燃料システムの洗浄、エンジンの調整、その他の調整などの通常のメンテナンス作業。

(m) バフ仕上げ / 塗装 / 粉体塗装品等の酸化。

(n) 戦争行為、天災または自然災害、地震、台風、竜巻、洪水、火災またはその他の類似の災害、暴動、テロ行為などを含むがこれらに限定されない、あらゆる不可抗力事象により生じた損害。

(o) 車両またはその部品の不適切な組み立て、メンテナンス、保管、使用によって生じた損傷、故障、損失。

8. Royal Enfield 認定の部品とアクセサリーのみを使用してください。他のメーカーの性能部品を使用すると、オートバイの保証が無効になります。

9. 以下の場合、保証は無効になります :

(a) 車両がレクリエーションまたは移動以外の目的で使用されている

(b) 車両が何らかの方法で改造されている場合

(c) 車台番号 / 識別コードが削除、汚損、改ざん、消去または除去された場合。

一般保証利用規約と条件

10. 以下の事項は本保証の条件および規約から明示的に除外されます。

    (a) 元の保証対象部品または付属品が Royal Enfield 認定ディーラーによって取り付けられた場合を除き、この保証に基づいて交換部品を取り付けるための人件費。

    (b) Royal Enfield 車両モデル用に設計または推奨されていないアクセサリを改造して使用したり、Royal Enfield 車両モデルに取り付けたりしたもの。

11. Royal Enfield は、すべての保証請求について最終的に決定する権利を留保します。

12. Royal Enfield は、以前に供給された車両にこれらの変更を取り付ける義務を負うことなく、車両の設計に変更を加える権利を留保します。

13. Royal Enfield は、車両 / その部品および所定の付属品の購入 / 車両の整備 / 保証期間中の該当する保証の請求の結果として、あなた（お客様）によって、機密データおよび / または個人データ、およびあなたまたは第三者に関連する情報を受け取りますあなたに関係する当事者（あなたの配偶者、家族、親戚など）。そのようなデータはお客様から、または他のソースから受け取る場合があり一部の機密データ / 個人データは、Royal Enfield の内部セキュリティシステムまたはその他の手段によって直接的または間接的に記録される場合があります。Royal Enfield は関連性のある限定的な目的でそのようなデータを処理する場合があります。この点に関してお客様は以下に明示的に同意するものとします。

    (a) Royal Enfield による、お客様またはお客様に関連する第三者に関する機密性の高い個人データおよび情報の処理。

    (b) 限定された目的のためにお客様に関する機密性の高い個人データおよび情報を収集および処理すること。

一般保証利用規約と条件

(c) Royal Enfieldが保有する、お客様またはお客様に関連する第三者に関する機密の個人データおよび情報を、Royal Enfieldの世界規模の組織のサービス プロバイダー、ディーラー、サプライヤー、アドバイザーおよびオフィス、および開示先となる第三者に世界的に転送すること。かかる第三者は、通常の業務過程または法律により必要とされます。マーケティング資料やビデオなどで個人の画像や音声を使用すること。

上記 13 の明示的な同意を取り消す場合は、support@royalenfield.com にメールを送信して同意を取り消す旨を明記することに同意するものとします。これに応じて、Royal Enfield は適用法に従い、合理的な期間内にRoyal Enfieldの記録にあるお客様に関する機密データおよび/または個人データをすべて削除するものとします。

14. この保証違反に対する唯一の救済はRoyal Enfieldの選択により欠陥のある材料、コンポーネント、または製品の修理または交換とします。この保証に規定されている救済は、この保証違反に対してすべての人が利用できる唯一の救済です。明示的または黙示的な保証、その他の契約、過失、その他の不法行為などから生じたかどうかにかかわらず、Royal Enfieldはいかなる人物に対しても、いかなる種類の偶発的、結果的、または特別の損害に対しても責任を負いません。この結果的、偶発的、および特別の損害の除外は、この唯一の救済が本来の目的を果たせなかったという認定とは無関係であり、その認定後も存続します。

15. 保証の否認: ここに明示的になされた保証を除きRoyal Enfieldは事実上、または法律、法令またはその他の方法により、明示的または黙示的にいかなる保証または表明も行いません。

16. 一般保証はインドの法律に準拠するものとし、お客様はインドのニューデリーの専属管轄権および裁判所の裁判地に同意するものとします。

ボーダレス保証の利用規約と条件

RE ボーダレス保証（個人輸入により国外に輸出されたバイクには適用されません）には、以下の条件が適用されます。



1. ライダーはRoyal Enfield正規販売店による確認のために、メンテナンスおよびサービス記録、所有権の証明、車両登録書類（原本 / コピー / ソフトコピー）を携帯する必要があります。
2. 定期メンテナンス サービスはオーナーズ マニュアルのスケジュールに従って、それぞれの期間/走行距離の範囲で、Royal Enfield 認定ディーラーワークショップ/サービス センターから受けられます。
3. Royal Enfield正規ディーラー ワークショップ/サービス センターの義務は、検査の結果、部品に製造上の欠陥があるとみなされた場合に限り、車両の純正部品を無料で修理/交換することに限定されるものとします。交換された欠陥部品は適切な検証後、Royal Enfieldの独占所有物となります。
4. ライダーは自らの費用と手段でRoyal Enfield認定ディーラーのワークショップ/サービスセンターまで車両の輸送を行うものとします。

ボーダレス保証の利用規約と条件

5. Royal Enfield認定ディーラーのワークショップ/サービス センターは可能な限り最短の時間で車両をお届けできるよう努めます。ただし、特定の国で必要な排出ガス規制/国固有の認証済みスペアパーツが入手できるかどうかによって、サービス時間/期間が通常より長くなる/延長される場合があります。

6. Royal Enfield公認ディーラー・ワークショップ/サービスクエンターでは、フォグランプ、ハイスパークランプ、アフターマーケットホーン、携帯電話チャージャー、ナビゲーターなど、電気または電子部品を含む非純正部品およびアクセサリーの分解、再組み立て、取り外し、再取り付け時の最大限の注意を払います。 ただし、Royal Enfield公認ディーラー・ワークショップ/サービスクエンターでは、非純正部品およびアクセサリーの組み立てに対する特殊工具やスキルなどが不足しているために生じる破損、損傷、不良、再取り付け不可等に関する責任を負いません。

7. Royal Enfield およびRoyal Enfield認定ディーラーおよび/またはその販売代理店は車両の整備/修理の遅れによる時間/金銭の損失を含むいかなる損失についても責任を負わず、そのような場合の宿泊、その後の移動などの手配はライダー自身の責任となります。

8. さらなる修理のために車両を別の工場に牽引する必要がある場合、または本国送還としてライダーの本国にバイクを牽引する必要がある場合は、ライダー自身の費用とリスクで行うものとします。

9. 残りの利用規約は一般保証の場合と同様となります。

10. ボーダレス保証はインドの法律に準拠するものとし、お客様はインドのニューデリーの専属管轄権および裁判所の裁判地に同意するものとします。

最新の認定サービス ネットワークについては、https://www.royalenfield.com/in/en/locate-us/service-centres をご覧ください。 海外旅行中で、Royal Enfield認定ディーラーからの保証サポートやアドバイスが必要な場合は、www をご覧ください。詳細については、royalenfield.com/borderless-warranty/をご覧ください。

お客様の責任

1. お客様は、何らかの問題が明らかになったら直ちに、さらなる損害を防ぐためにあらゆる可能な措置を講じ、そのような損害が発生してから合理的な期間内に、Royal Enfield正規販売店/サービス センターにそのような損害について通知するものとします。
2. Royal Enfieldが製造した車両を購入することにより、お客様は車両の所有、所有権、使用、または輸送に関して適用されるすべての法律および国際法を確認し、それに従う責任を負うことになります。お客様は適用される法律に違反して車両を購入、所有、輸送、または使用したことから直接的または間接的に生じるすべての請求についてRoyal Enfieldを補償し、免責することに明示的に同意します。Royal Enfieldは正規ディーラーから購入した車両の誤用については責任を負いません。

責任の制限

このポリシーに矛盾する内容が含まれているにもかかわらず、本保証に基づくRoyal Enfieldの責任は、その独自の裁量により、欠陥のあるオートバイの修理に限定されます。いかなる場合においても、Royal Enfieldは、間接的、特別、結果的、付随的損害、人身または財産への傷害、時間の損失、商業的損失、不都合、その他の付随的、懲罰的、結果的損失について責任を負わないものとします。の使用からオートバイ。

排出ガス保証

Royal Enfield は、通常の使用において同社の車両のガス状汚染物質の排出に影響を与える可能性のある部品に以下の保証が適用されることを証明します。

この排出ガス保証は、初度登録日から 30,000 km/3 年間のいずれか早い方まで有効であり、オーナーズマニュアルに規定されている保証方針、条件、義務に加えて、これらと並行して適用されます。

Royal Enfield はさらに、Royal Enfield 認定サービスディーラーによる検査で車両が指定された排出基準を満たしていない場合、認定サービスディーラーが必要な是正措置を講じ、独自の裁量で必要な排出基準を満たすために排出制御システムの部品を無料で修理または交換することを保証します。

排出保証関連部品の保証条件を決定するための検査方法は、Royal Enfield および / または当社の認定サービスセンターの独自の裁量で決定され、そのような検査の結果は最終的かつ拘束力を持ちます。検査で部品の保証条件が確立されていない場合、Royal Enfield は部品の費用に加えて、検査費用の全額または一部を顧客に請求する権利を有します。

排出ガス保証に基づいて部品が承認された場合、Royal Enfield は必要に応じて部品を無料で交換します。ただし、燃料、潤滑油、溶剤などの消耗品は実際の金額に応じて顧客に請求されます。

排出ガス保証

排出保証の対象となるコンポーネントまたは関連部品のいずれかが単独で交換できない場合、Royal Enfield は適切な修理によりアセンブリ全体またはアセンブリの一部を交換する独自の裁量を有します。

Royal Enfield は排出保証の対象となるコンポーネントの修理または交換に加えて、結果的に車両の必要な修理を行うか、部品を交換する権利を留保します。使用中の排出基準への準拠を確立するためです。このような修理 / 交換はお客様に請求されます。

保証に基づいて交換のために取り外されたすべての部品は Royal Enfield の所有物となります。

Royal Enfield は最寄りの認定サービスディーラーへの車両の輸送費用、または Royal Enfield および / またはその認定サービスディーラーによる検査および修理期間中にバイクが利用できないことによる損失について責任を負いません。

Royal Enfield は使用中の排出基準に準拠しなかったために法定当局から課される可能性のある罰金について責任を負いません。

車両の排出をチェックするために発生した費用は、お客様の負担となります。

排出ガス保証は車両の初度登録日から本書に規定されているすべての条件が満たされている限り、車両の所有権の変更に関係なく適用されます。

排出ガス保証

保証は顧客が下記の場合に適用されます

- オーナーズマニュアルに記載されているすべての重要な指示とその他の注意事項を遵守している。
- いかなる状況でも Royal Enfield が推奨する潤滑油と燃料を使用している。
- Royal Enfield のガイドラインに従って定期的にメンテナンスを実施し、その詳細を点検記録簿に記入している。
- オーナーズマニュアルの指示に従って車両をメンテナンスおよび使用し、排出ガス基準に準拠するために必要な修理および調整を行ったにもかかわらず、排出ガス基準に準拠していないことが判明した場合は、直ちに最寄りの Royal Enfield 認定サービスディーラーにご連絡ください。
- 排出ガス保証を請求するには、有効な汚染制御証明書の提示が必要です。
- 検証の詳細を記載したオーナーズマニュアルと記録簿を作成します。
- 車両の初度登録日からオーナーズマニュアルに指定されている車両のメンテナンスをカバーする領収書を発行している。
- 有効な保険証明書と RTO 登録証明書（R.C. ブック）を発行する。

排出ガス保証

排出ガス保証は、以下の場合には適用されません。

- 有効な汚「染制御」証明書が発行されていない。
- 車両がメンテナンス チャートに記載されているサービススケジュールに従ってRoyal Enfield認定サービスディーラーによってメンテナンスされていない。
- 車両が異常な使用、乱用、放置、不適切なメンテナンスを受けたか、事故に遭った。
- Royal Enfieldが指定および承認していない交換部品が使用されている。
- 車両またはその部品が、許可されていない方法で改造、改ざん、変更、または交換されている。
- オドメーターが機能していないか、オドメーターやその表示が変更または改ざんされているため、実際の走行距離を簡単に判断できない。
- 車両が競技、レース、ラリー、あるいは記録を樹立する目的で使用された。
- Royal Enfieldまたは認定サービスディーラーによる検査で、車両の使用およびメンテナンスに関するオーナーズマニュアルに規定されている条件のいずれかが違反されていることが判明した場合。
- 車両がオーナーズマニュアルまたは車両販売時に顧客に渡されたその他の文書でRoyal Enfieldが指定するもの以外の不純物が混入した / 鉛が混入した燃料または潤滑油を使用して走行されていた。

排出ガス保証

- 排出関連部品が改ざんされている。
- 排出ガス保証期間中に発生したサービスおよび部品関連の請求書がすべて発行されていない。
- 排出ガス保証期間中に車両に対して行われたすべてのメンテナンス作業が記録簿に記録されていない。

法律を守るためのヒント

- 必ず認可された排出ガス検査センターで車両が排出ガス規制を満たしているか検査を受けてください。
- 法律で定められている場合は、有効な「汚染」制御証明書を常に携帯してください。

汚染を削減するためのヒント

- オーナーズマニュアルに記載されているとおりにRoyal Enfield認定サービスディーラーで定期メンテナンスを確実に行ってください。
- 信頼できる燃料ポンプからの無鉛プレミアムガソリンのみを使用してください。
- 使用する燃料に不純物が含まれていないことを確認してください。
- オーナーズマニュアルで推奨されている正しいスパークプラグを使用してください。
- オーナーズマニュアルに記載されているグレード / ブランドの推奨事項に従って潤滑剤を使用してください。

燃料蒸発ガス防止装置保証

以下の保証は蒸発排出制御システムに適用されます。

Royal Enfield は、最初の所有者とその後の各所有者に対して、この車両が販売時に蒸発排出制御システムで指定された適用規制に準拠するように設計および製造されていること、この車両に取り付けられた蒸発排出制御システム関連部品にこの車両が適用規制を満たさなくなる原因となる材料および製造上の欠陥がないこと、車両の初度登録日から 24 か月の期間を保証します。

保証期間は、車両が最初に登録された日、または車両がデモンストレーターまたは展示および / または試乗車として使用された最初の日から起算されます。

以下は蒸発排出制御システムの保証の対象外です

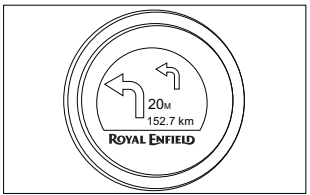
1. オーナーズマニュアルに指定されているように、誤用、改造、事故、または定期メンテナンスの不履行の結果として発生した可能性のある故障。
2. 蒸発排出ガス制御システム（燃料タンク、燃料タンクキャップ、キャニスター、パージバルブ、スロットルボディ、蒸気ホース、燃料ホース、ホースコネクタで構成）の一部を、Royal Enfield で認定されていない部品と交換、取り外し、または変更したこと。
3. 時間の損失、不便、車両の使用不能、またはその他の結果的な損失または損害。
4. オドメーターが改ざんされている、またはスピードメーターケーブルが何らかの理由で切断されている、または破損していてすぐに交換されていないため、正確な走行距離を測定できない車両。
5. 燃料ホース、ベーパーホース、ガスケット、ゴム部品などの部品の通常の劣化。

必要なメンテナンスに関する推奨事項

車両の定期メンテナンスは指定された間隔で実施することをお勧めします。また、蒸発ガス排出制御システムのメンテナンスは Royal Enfield 認定サービスディーラーで、純正の Royal Enfield スペアパーツのみを使用して実施する必要があります。

無線設定認証

トリッパー /ナ ビゲーションディスプレイユニット



JAPAN

R 201-210459

サービス /メ ンテナンス記録

シリアル番号	サービスの種類	スケジュール	日付	ジョブカード No.	km	ディーラーコード	サービスの概要

配線図

免責事項

配線回路の修理およびその他の電気整備はRoyal Enfield認定サービスディーラーでのみ行うことをお勧めします。これに従わないと電気システムが損傷し、車両の保証が無効になる可能性があります。



ノート

ノート

ノート

ノート

ノート

ノート

ノート

ノート

ROYAL ENFIELD

ROYALENFIELD.COM

Part No. RAM00638/B

RAM00638/B

Edition: 12th March 2025